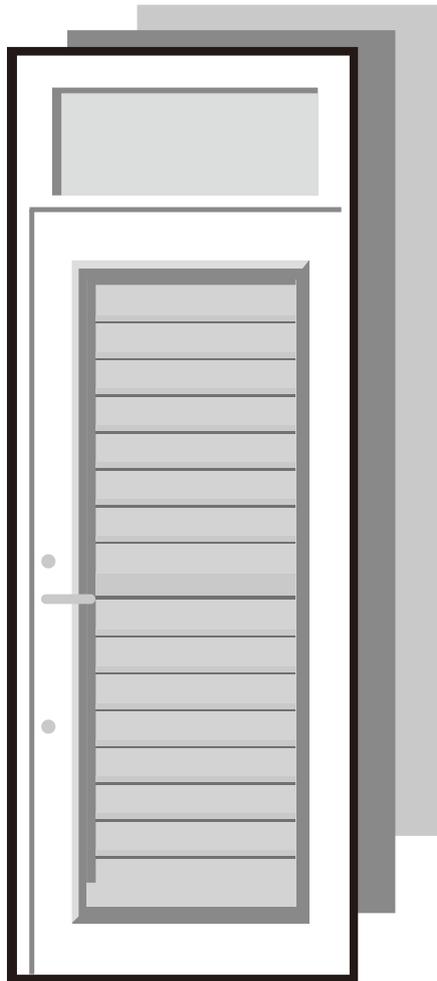


リシエント勝手口ドア

取付け説明書



取付けにあたって

- ご使用前に、「取付け説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この説明書に掲載の商品は、使用用途・場所などを限定するもの、専門施工を必要とするもの、定期点検を必要とするものがあります。販売店又は専門施工店にご確認ください。
- 商品には安全にお使いいただくための本体表示ラベルが張ってあるものがあります。ご使用の際はご確認の上、正しくお使いください。

目次

■組立て・取付けされる方へのお願い	1・2
■「リシェント勝手口ドア」は	3
■取付け工程モデル	4
■現場取付けまでの準備	5
■納まり参考図	6・7
■部材一覧	8・9
■部材構成図	10
■製品の組立て	11
■製品の取付け	12～28
■取付けチェックポイント集	29～33

組立て・取付けされる方へのお願い

■組立て・取付けされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …組立て・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- 本製品は、木造・土間納まり専用です。外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。
- 躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず 20mm 以上にしてください。製品強度の不足でドア本体・枠の脱落の原因になります。
- 躯体に取付ける際は、枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法 20mm の時、 $1.2\text{N} \cdot \text{m}$ ($12\text{kgf} \cdot \text{cm}$) 以上にしてください。製品強度の不足でドア本体・枠の脱落の原因になります。
- 丁番取付けねじは、奥まで締め付けてください。ドア本体の脱落の原因になります。
- 丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落します。
- 下枠段差緩和材の取付けは注意事項をお守りください。両面テープの接着力が低下し、下枠段差緩和材が外れ、思わぬケガをするおそれがあります。

■組立て上のおお願い

- ガラス寸法は、カタログの寸法割出表から算出してください。
- 必ず指定のねじで組立てしてください。
- 枠の組立てねじは $2.5 \pm 0.5\text{N} \cdot \text{m}$ ($25 \pm 5\text{kgf} \cdot \text{cm}$) の締め付けトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠用 L アングル（別途有償品）を枠組立て時に取付けてください。
- 押縁の両端末にシーリング材を充てんしてください。

■取付け上のお願い

- 必ず指定の取付けねじで固定してください。
- 現場取付けに入る前に製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。
- 内外の額縁は現場の納まりに合わせて切詰めてください。

〔ねじかかり寸法の確認〕

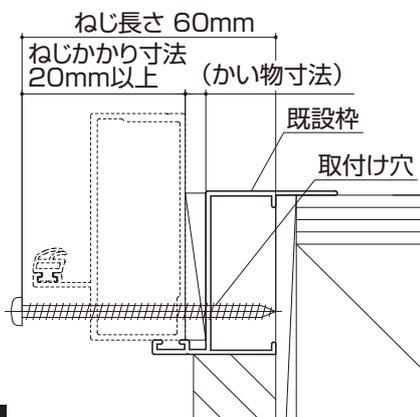
躯体にねじ止めする前に、既設枠の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが20mm以上であることを確認してください。

※ねじ長さ 60mm

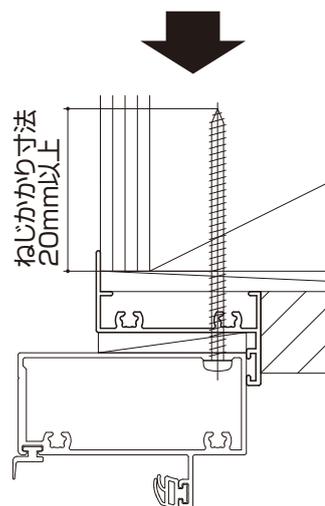
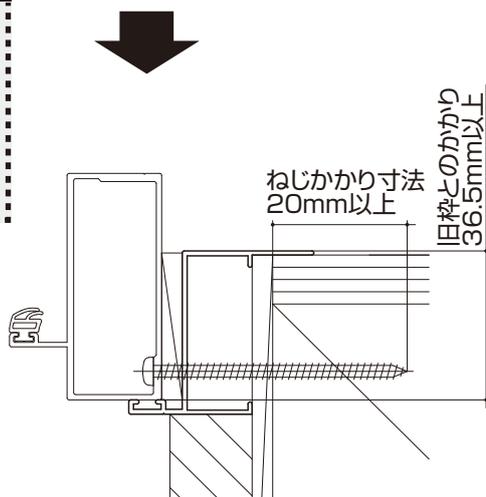
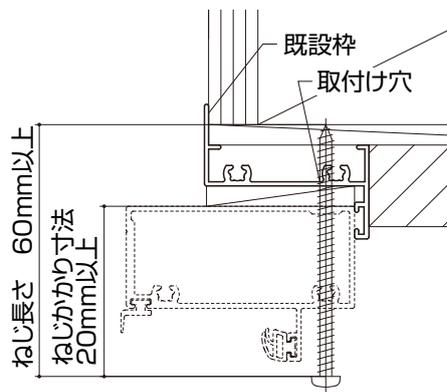
▲注意

- 製品の強度確保のため、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。

(縦枠の場合)



(上枠の場合)



〔取付ける柱のねじ込みトルクの確認〕

製品を取付ける前に取付ける柱に腐りがなく、枠の取付けねじのねじ込みトルクが1.2N・m (12kgf・cm) 以上であることを確認してください。

▲注意

- 躯体に取付ける際は、製品の強度確保のため、取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法20mmの時、1.2N・m (12kgf・cm) 以上にしてください。

「リシエント勝手口ドア」は…

- 『リシエント勝手口ドア』は、既設のドア枠（※ 1）の上から新しい枠を取付ける、改装専用勝手口ドアとして設計されています。

（※ 1）トステム対象商品名

ロンカラーガラスドア（内付枠・半外付枠）
ロンカラーフラッシュドア（内付枠・半外付枠）
ロンカラー採風ドア・採風ドア・勝手口ドア A 型
網戸付勝手口ドア・204 勝手口ドア・パリカラー・ニューカラー プリンス・クリエラガラスドア（内付枠・半外付枠）

（※ 2）その他商品 上記以外の商品については、柱へのねじかかり寸法が 20mm 以上の商品のみを対象とします。

■製品特長

1. 枠の取外し及び付帯工事が不要なため、外壁や内装をキズつけません。
2. 部材の加工・組立てが簡単です。
3. 内外の額縁に調整幅が設けてあるため、どんな枠にもきれいに納まります。
4. 内外の額縁の調整とシーリングだけで、雨仕舞いなどの仕上げが完了します。
5. 品揃えが豊富です。

取付け工程モデル

取付け工程

概要

お施主さまとの打合わせ

- 現場を確認し、既設玄関への取付可否を調査します。
- 使用する製品のタイプを決定・見積りし、工事希望日を確認します。
- 製品を発注し、納入日を確認後工事日を決定します。

取付け前の作業

- 既設枠開口に合わせ、枠を切詰める必要がある場合は、製品を切詰めます。
- ガラス・ビード・別途有償品を手配します。

製品の組立て

- 工事日までに製品を組立てます。

既設ドアの取外し

- 製品基本寸法が現場に合うことを確認します。
- 工具を準備し、外枠だけ残して順に取外します。

新しい枠・ドアの取付け

- 開口部の水平・垂直を正しく出し、新しい枠とドアを取付けます。
- 建付け調整をします。

枠外周部のシーリング処理

- 雨仕舞いの処理のため、シーリングをします。
※シーリング箇所は納まり図を参照してください。

額縁の取付け

- 納まりに合わせて、額縁を切詰めます。
- 納まりに合う調整溝に、額縁を取付けます。
- 溝ふたを取付けます。

額縁外周部のシーリング処理

- 雨仕舞いの処理のため、シーリングをします。
※シーリング箇所は納まり図を参照してください。

ガラス入れ・部品の取付け

- ガラスを入れ、ドアクローザなどを取付けます。
- 押縁の両端末に、すき間ふさぎのためシーリングをします。

お引渡し

- お施主さまに製品を引渡します。

現場取付けまでの準備

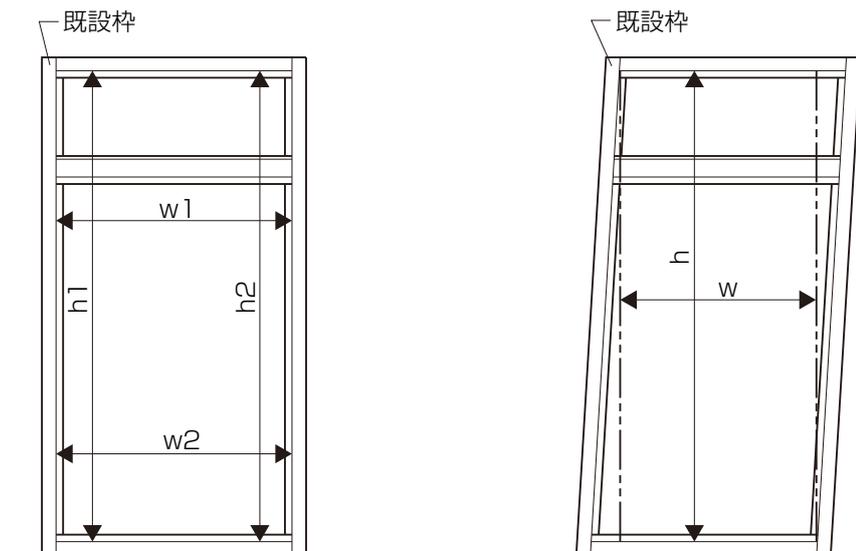
1. 既設枠開口寸法の測定と取付可否の調査

※巻末の取付けチェックポイント集に従い、既設勝手口への取付可否を調査します。

- ①既設枠の断面形状を確認します。
- ②「取付けチェックポイント集」(巻末)を参考に既設枠開口の $w1 \cdot 2$ と $h1 \cdot 2$ を測定し、小さいほうを既設枠開口寸法とします。

※下図のように既設枠に狂いがある場合は、水平・垂直をみて寸法を測ってください。

- ③既設枠開口寸法より 10mm 程度小さく製品基本寸法を設定します。(調整が必要な場合は、かい物をご使用ください。)



2. 枠のタイプ、本体、子扉デザインの決定

●取付可能であれば、製品基本寸法を設定し下記項目を決定します。

※単品カタログをご使用ください。

- ①**枠のタイプ** (ランマ無し、SG ランマ付、PG ランマ付、吊元、製品色)
- ②**本体のタイプ** (デザイン・吊元・製品色)
- ③**外額縁・内額縁のタイプ** (中・小)
- ④**工事費の見積り** (既設ドアの取外し・製品の切詰め・組立て・取付け費・ガラス代など)
- ⑤**工事日**

※本製品は枠・ドア本体の切詰めができませんので、特注にて発注してください。

3. ガラス・別途有償品の手配

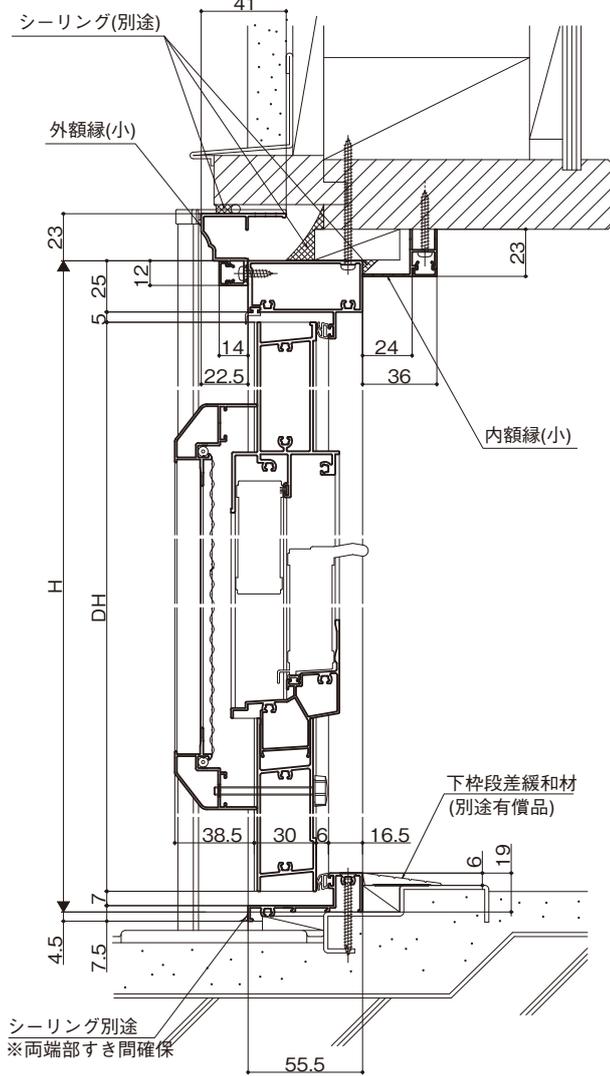
- ①カタログの寸法割出表で、ガラス寸法を算出します。
- ②工事日に合わせて、ガラス・別途有償品を手配します。

納まり参考図

■木枠納まり

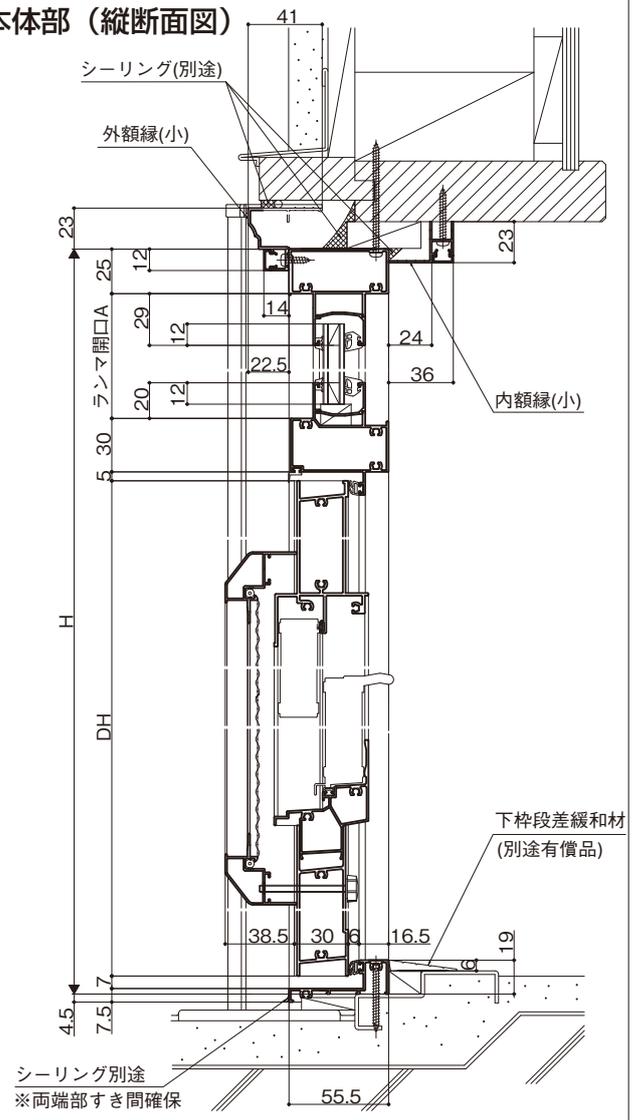
〔ランマなし〕

●本体部 (縦断面図)



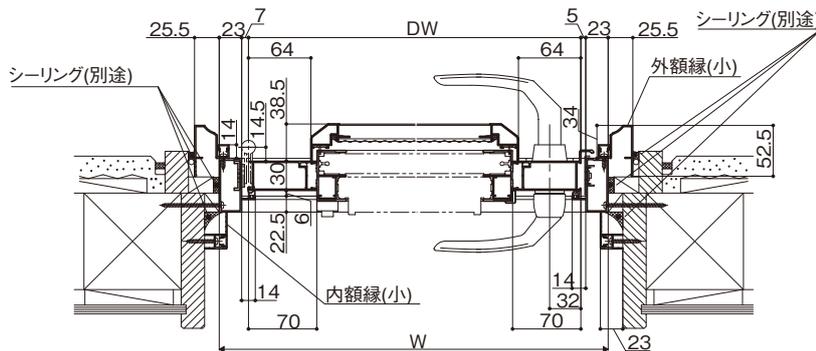
〔ランマ付き〕

●本体部 (縦断面図)



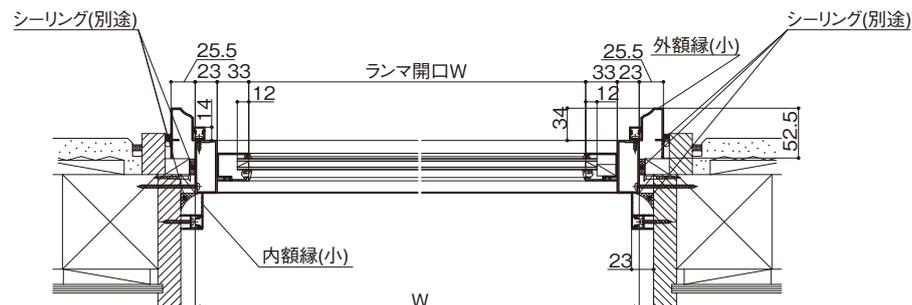
●片開き

(横断面図)



〔ランマ付き〕

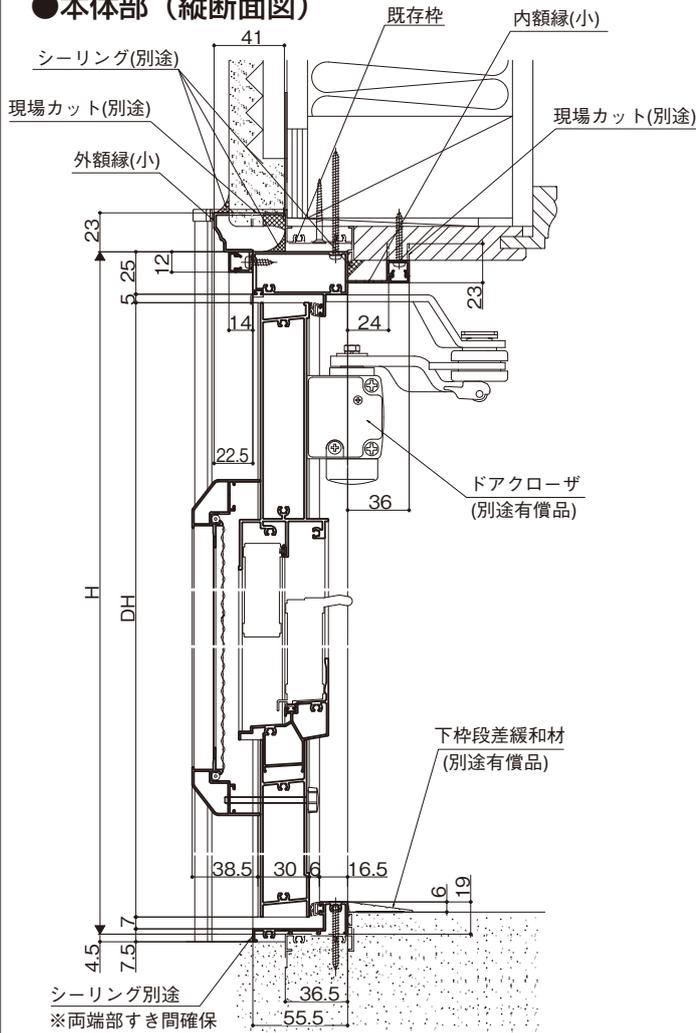
●ランマ部 (横断面図)



■アルミ枠納まり

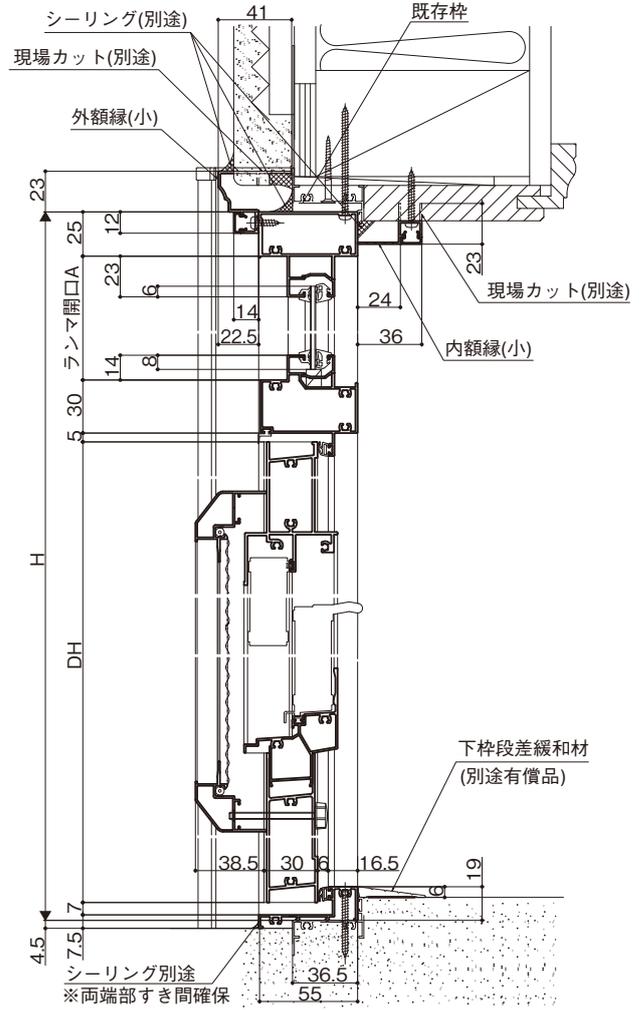
〔ランマなし〕

●本体部 (縦断面図)

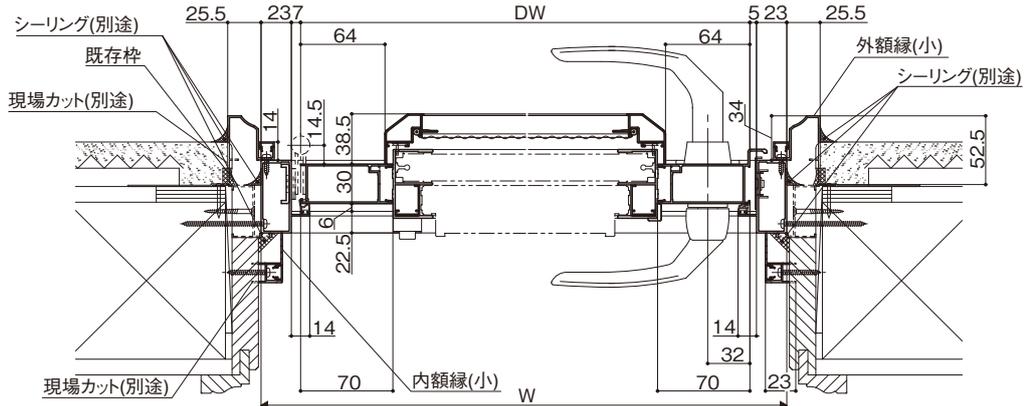


〔ランマ付き〕

●本体部 (縦断面図)



●片開き (横断面図)



〔ランマ付き〕

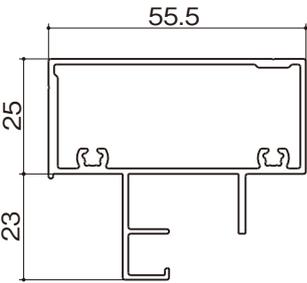
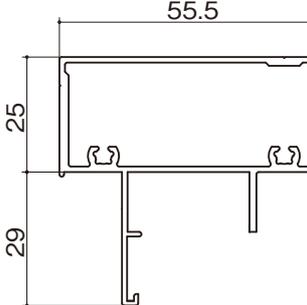
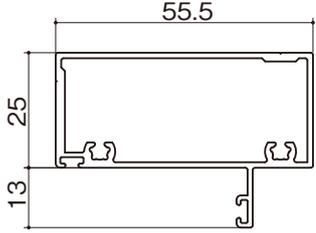
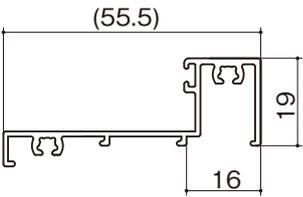
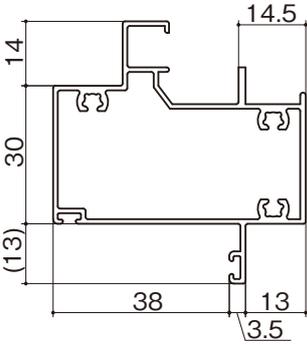
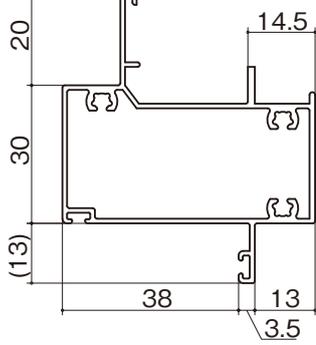
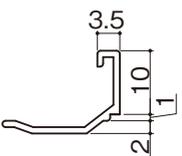
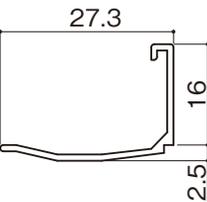
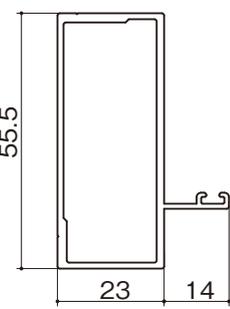
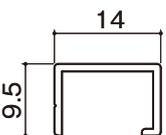
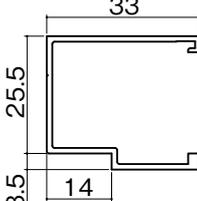
●ランマ部 (横断面図)



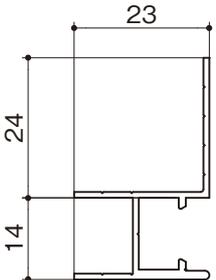
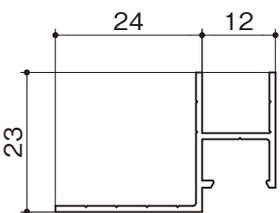
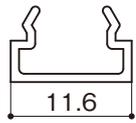
部材一覧

■部材一覧

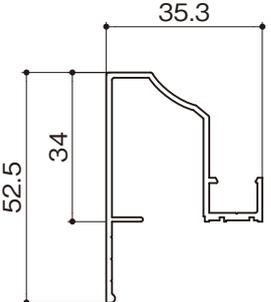
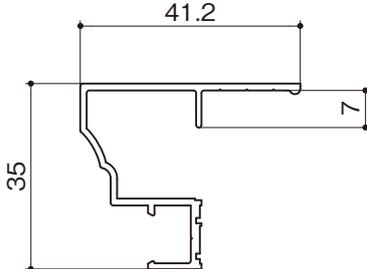
●枠

<p>ランマ上枠 (SG)</p> 	<p>ランマ上枠 (PG)</p> 	<p>ランマ 無上枠</p> 
<p>下枠</p> 	<p>無目 (SG)</p> 	<p>無目 (PG)</p> 
<p>押縁 (SG)</p> 	<p>押縁 (PG)</p> 	<p>丁番 (戸先) 側縦枠</p> 
<p>ランマアタッチメント (SG)</p> 	<p>ランマアタッチメント (PG)</p> 	

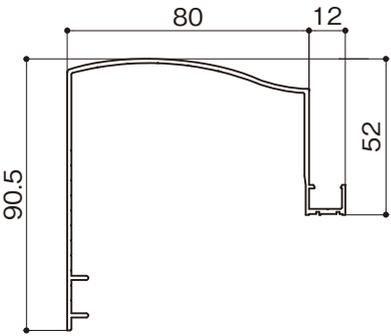
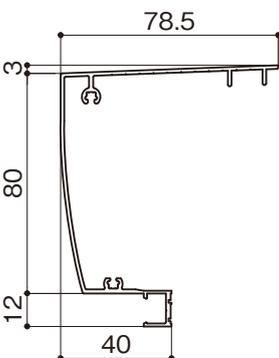
●内額縁 (小)

内額縁 (縦)	内額縁 (横)	溝ふた
		 <p>※外額縁も兼用</p>

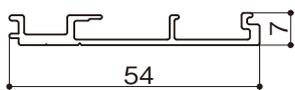
●外額縁 (小)

外額縁 (縦)	外額縁 (横)
	

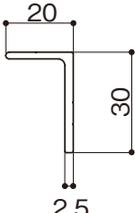
●外額縁 (中)

外額縁 (縦)	外額縁 (横)
	

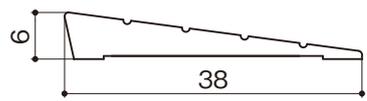
●下枠フラット材 (別途有償品)

下枠フラット材


●下枠用Lアングル (別途有償品)

下枠用Lアングル


●下枠段差緩和材 (別途有償品)

下枠段差緩和材
 <p>材質: EPDM ゴム</p>

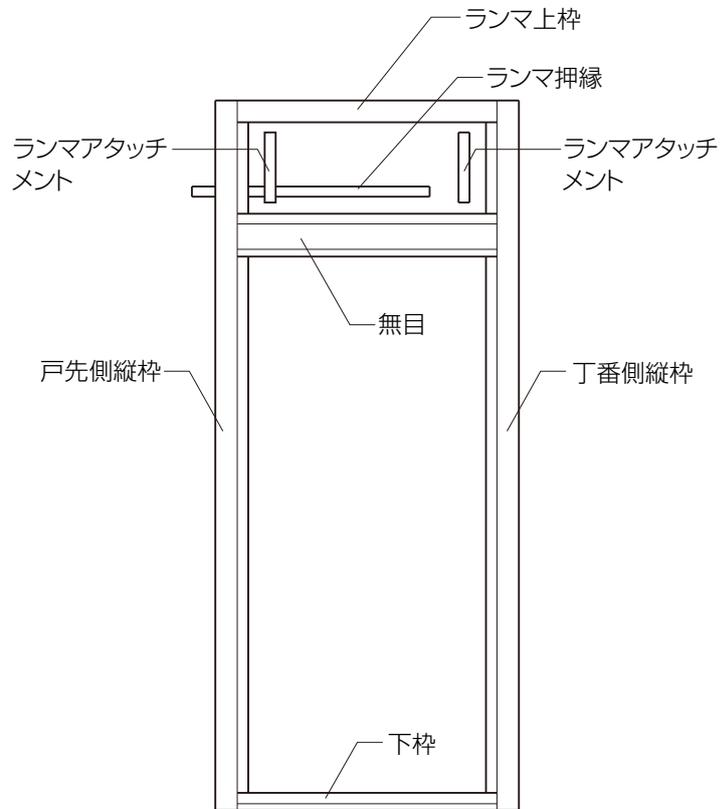
部材構成図

■部材構成図

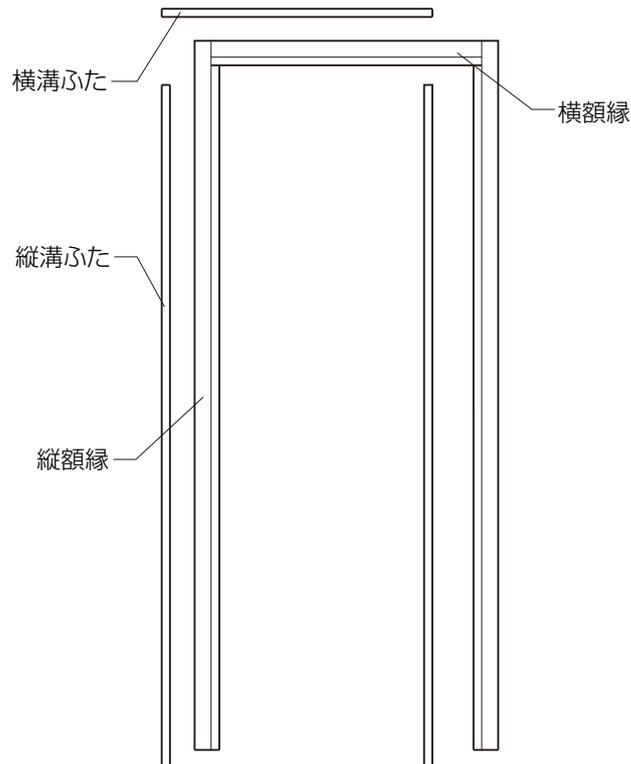
※図は外観右丁番の場合です。左丁番の場合、左右対称となります。

■片開き

●ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、ランマ押縁はありません。



■内額縁・外額縁



製品の組立て

■組立てされる方へのお願い

▲注意

●丁番取付けねじは、奥まで締め付けてください。ドア本体の脱落の原因になります。

- 必ず指定のねじで固定してください。
- 枠の組立てねじは、 $2.5 \pm 0.5\text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5\text{kgf} \cdot \text{cm}$ } の締め付けトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠用Lアングル（別途有償品）を下枠組立て時に取付けてください。（P.26）

■部品・ねじ一覧表（枠組立て用）

①	㊦
	
なべタッピンねじφ4×55	プッシュボタン

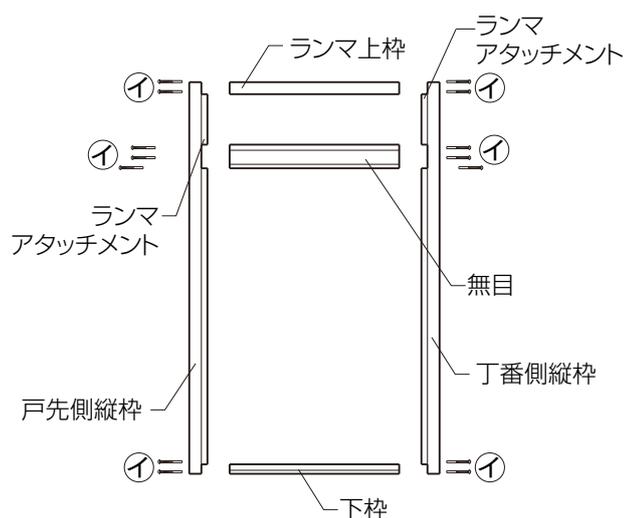
■組立て順序

■枠の組立て

- 図に従って枠を組立てます。
- ※図中①～㊦は、部品・ねじの種類を表します。

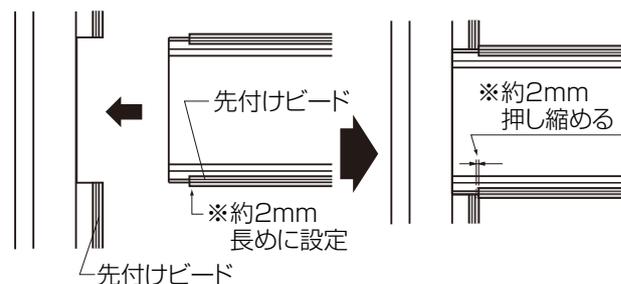
〔片開き〕

- ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、無目押縁はありません。



■先付けビードのコーナー部納まりについて

※組立ての際、コーナー部の先付けビードが正しく納まっているか確認してください。先付けビードは、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定してあります。



製品の取付け

▲ 注意

- 本製品は、土間納まり専用です。外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。
- 躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず 20mm 以上にしてください。製品強度の不足でドア本体・枠の脱落の原因となります。
- 躯体に取付ける際の枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法 20mm の時 1.2N・m (12kgf・cm) 以上にしてください。製品強度の不足でドア本体、枠の脱落の原因となります。
- 丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落します。

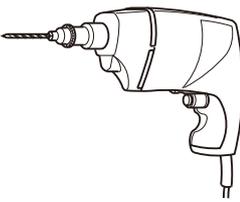
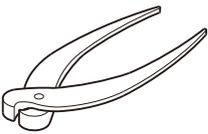
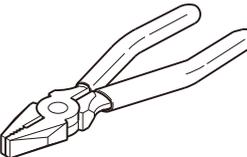
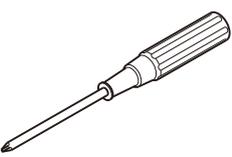
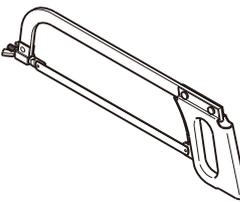
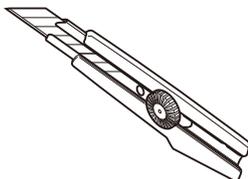
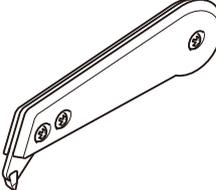
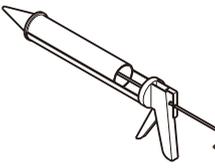
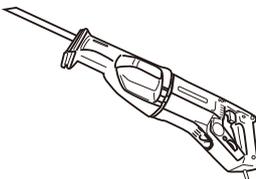
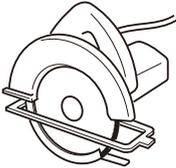
- 現場取付けに入る前に、製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。
- 必ず指定の取付けねじで取付けてください。
- 内外の額縁は、現場の納まりに合わせて切詰めてください。

■取付けねじ一覧表

※取付けねじ本数は、取付け穴より多めに入っている場合があります。

①	②	③	④
上枠・縦枠用	下枠取付け用	穴ふさぎ用	下枠取付け用
			※コンクリート用 
なべタッピンねじ φ4×60 (1種)	皿ドリルねじ φ4×40	プッシュボタン	皿セルフタッピン アンカーねじ φ4×50

■使用工具一覧表

電動ドリル・電動ドライバー	くい切り	ペンチ	プラスドライバー	鉄ノコ
				
カッター	プラスチックカッター	コーキングガン	セーバーソー	丸ノコ
				

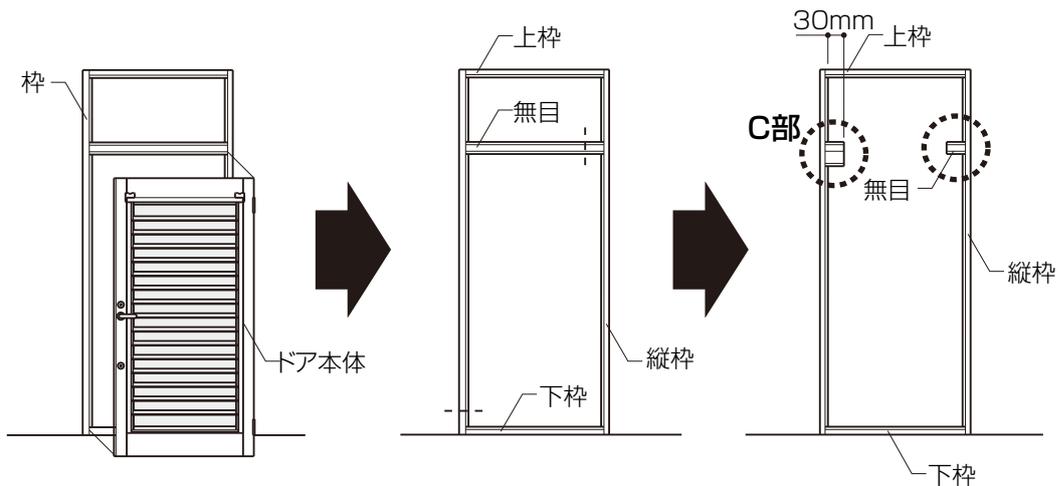
※その他工具

■既設ドアの取外し

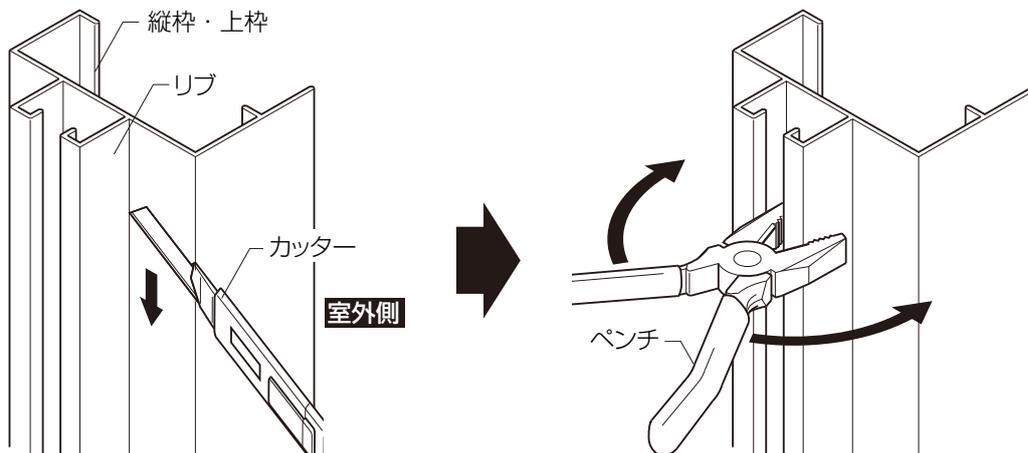
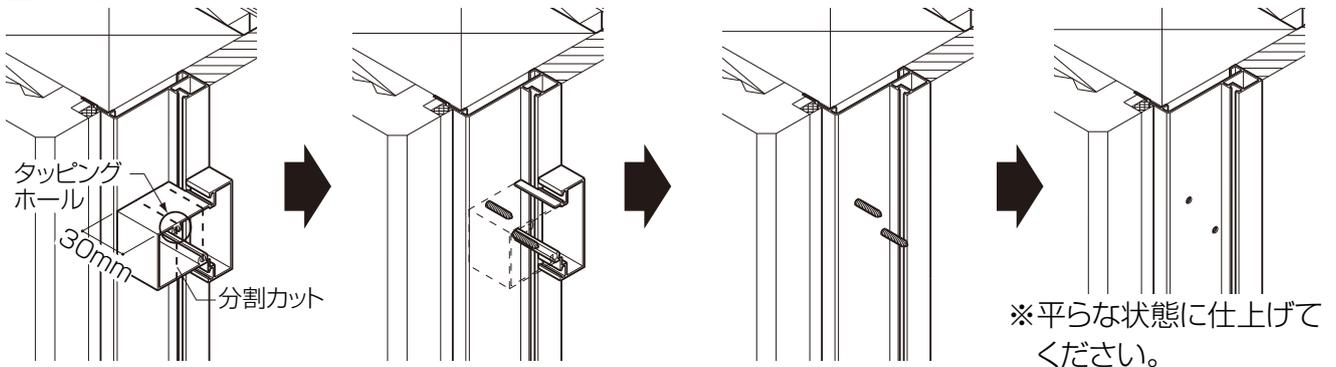
- ①既設のドア本体及びランマガラスを取外します。
- ②無目を切断して取除き、外枠（上枠・縦枠・下枠）のみ躯体に残します。

〔既設枠がアルミ型材の場合〕

- ①無目は、縦枠・下枠などとの連結部から約 30 mm 残して切取ります。
- ②切り残した部材は、タッピングホール付近を分割して取りやすい状態にして外します。
- ③外枠に残ったねじを、くい切りなどで切断します。
- ④取付けに支障のあるリブが縦枠・上枠にある場合は（下図）、室外側のリブの付け根にカッターなどにて強く押当ててキズをつけ、ペンチで折取ります。

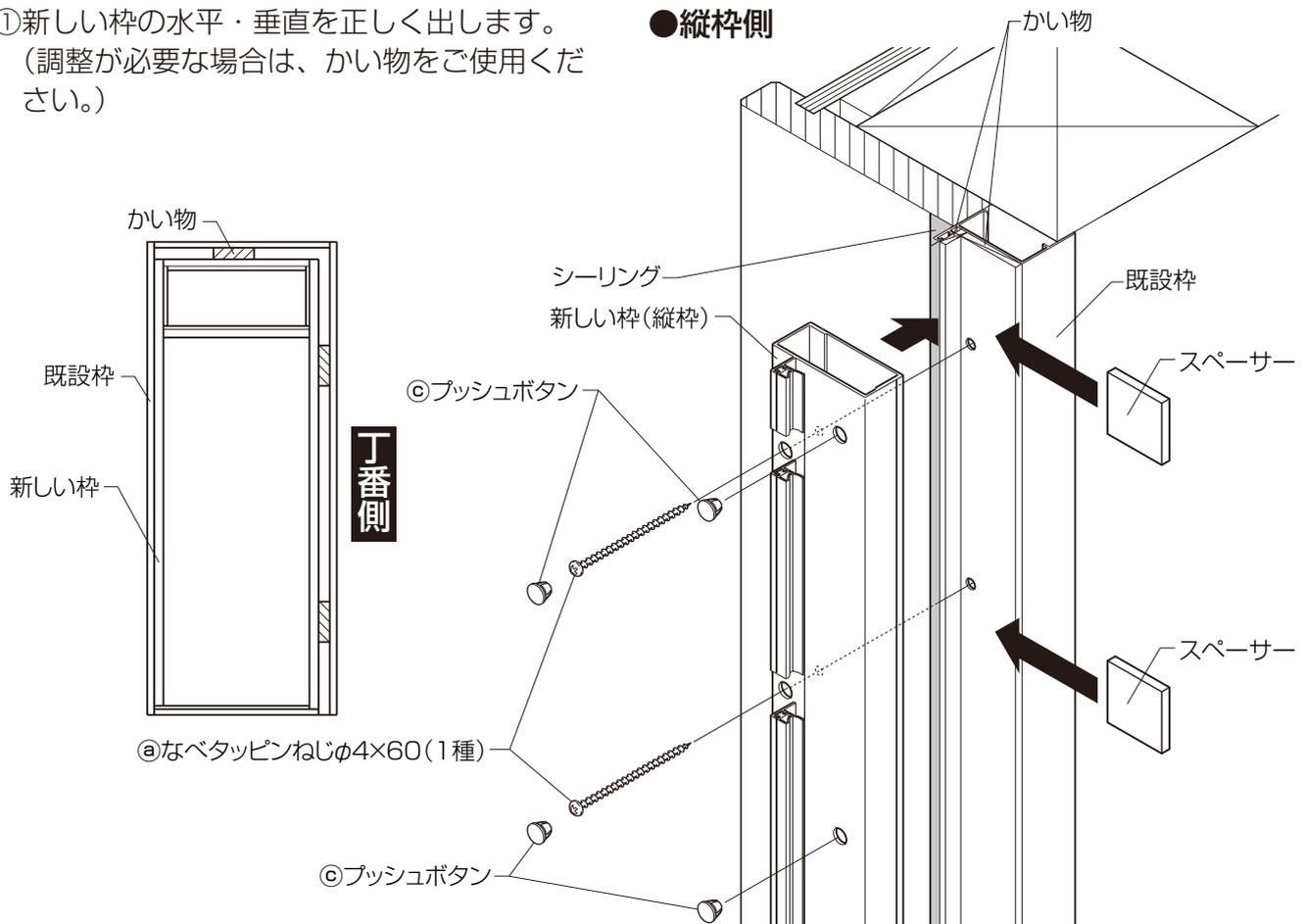


■C部詳細図



■新しい枠の取付け

- ①新しい枠の水平・垂直を正しく出します。
(調整が必要な場合は、かい物をご使用ください。)



▲ 注意

- 躯体に取付ける際は、製品の強度確保のため、ねじかかり寸法は必ず 20mm 以上にしてください。ドア本体・枠の脱落の原因になります。

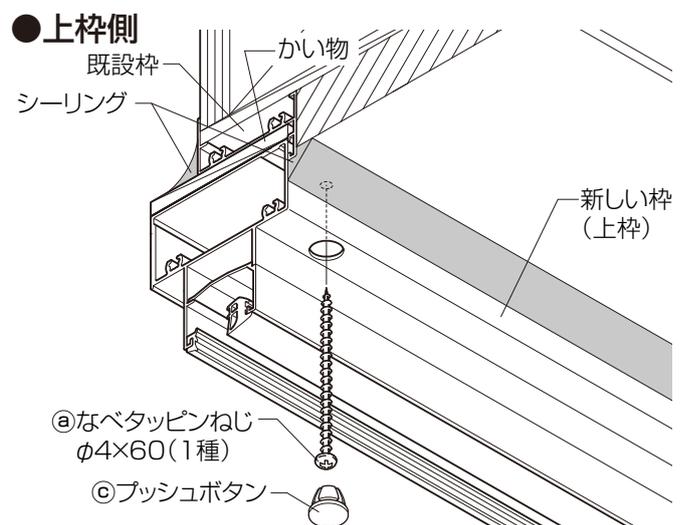
- ②取付け位置決定後、新しい枠（上枠・縦枠）の取付け穴より、既設枠にφ 4.5、躯体にφ 3の下穴をあけます。
③丁番側縦枠の室内側躯体取付けねじから順に指定のねじで取付けます。

- ④◎プッシュボタンをはめ込みます。

- ⑤既設枠と新しい枠の接合部（室外側／三方）にシーリング材を充てんします。

▲ 注意

- 外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

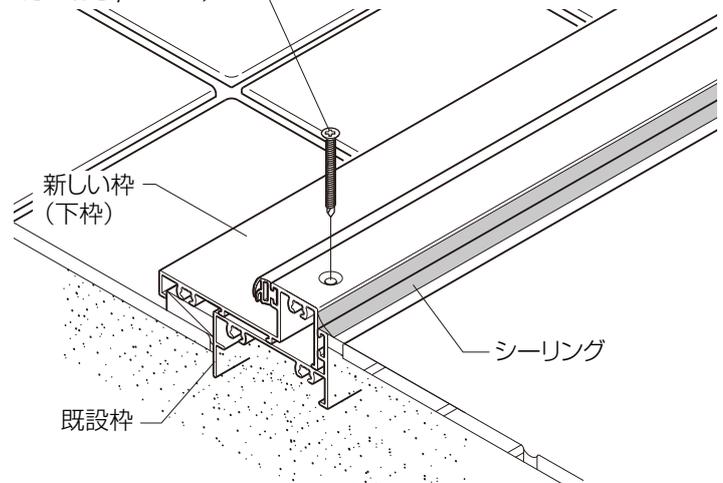


⑥下枠の取付け穴から既設下枠に
φ3.5の下穴をあけて、㊸皿ドリ
ルねじφ4×40で既設枠に固定
します。

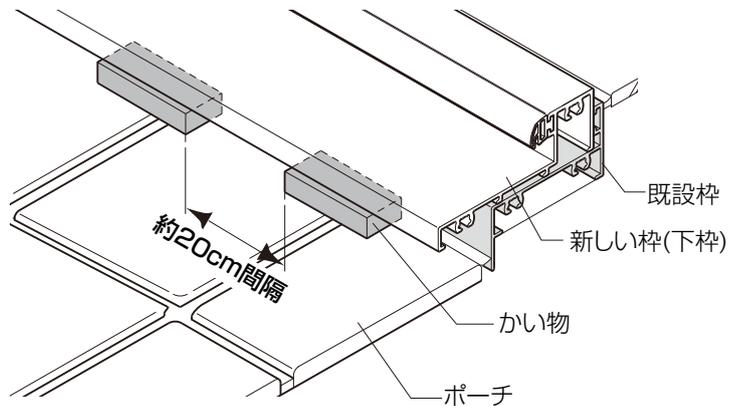
既設枠が3方枠の場合、又は既
設の下枠を取外す場合は、㊹皿
セルフタッピンアンカーねじφ4
×50で固定します。

●下枠側

㊸皿ドリルねじφ4×40
(㊹皿セルフタッピン
アンカーねじφ4×50)



⑦下枠のたわみ防止のため、下枠と既設枠との
すき間にかい物を入れます。



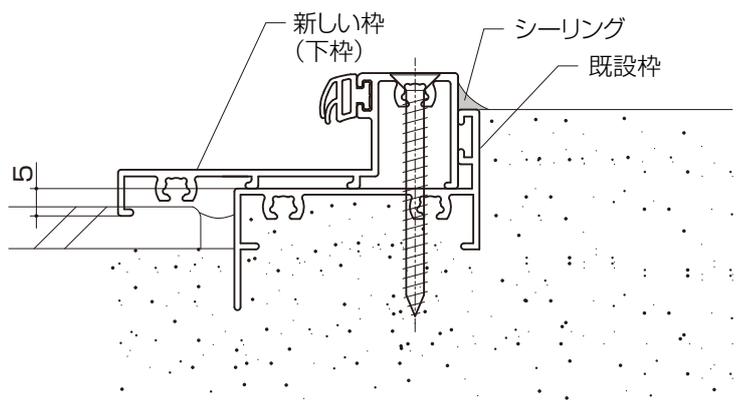
⑧既設枠と新しい下枠の接合面（室内側）に
シーリング材を充てんします。

▲注意

●外壁工事を伴わない取付けの場合
は、指定の箇所にシーリング材を
充てんしてください。漏水の原因
となります。

※ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠用
Lアングル（別途有償品）を枠組立て時に取
付けてください。（P.26）

※ポーチと下枠の段差が小さい場合（5mm以
下）は、下枠がポーチと干渉します。
下枠フラット材（別途有償品）を使用して納
めてください。（P.25）

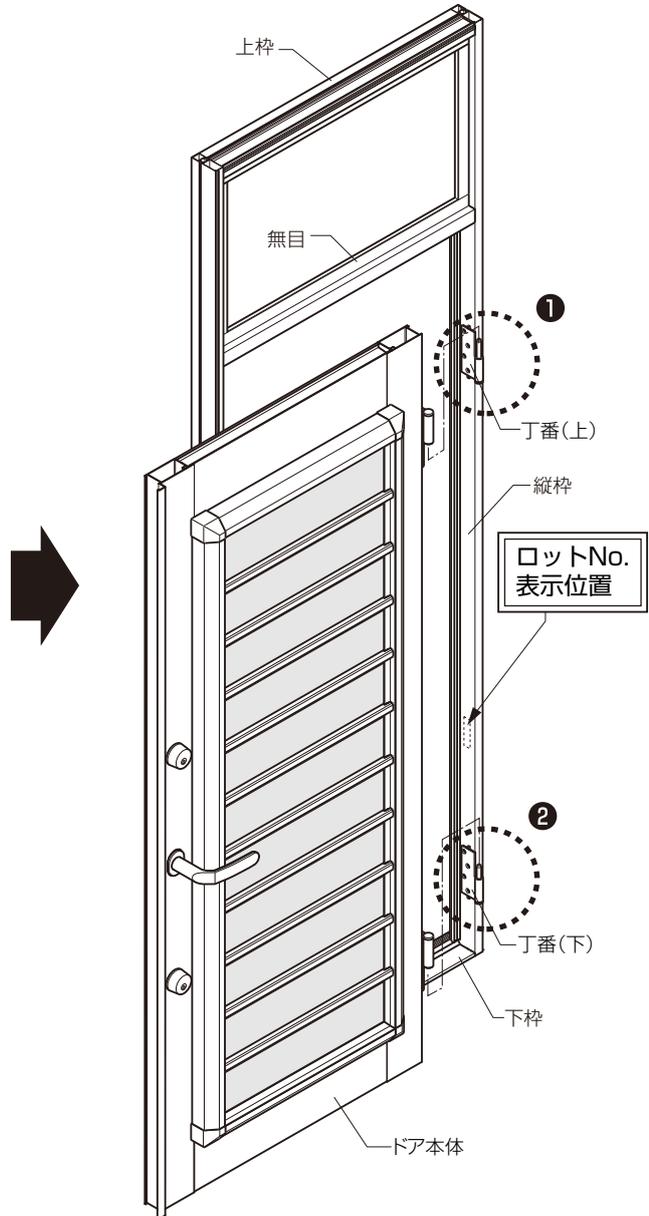
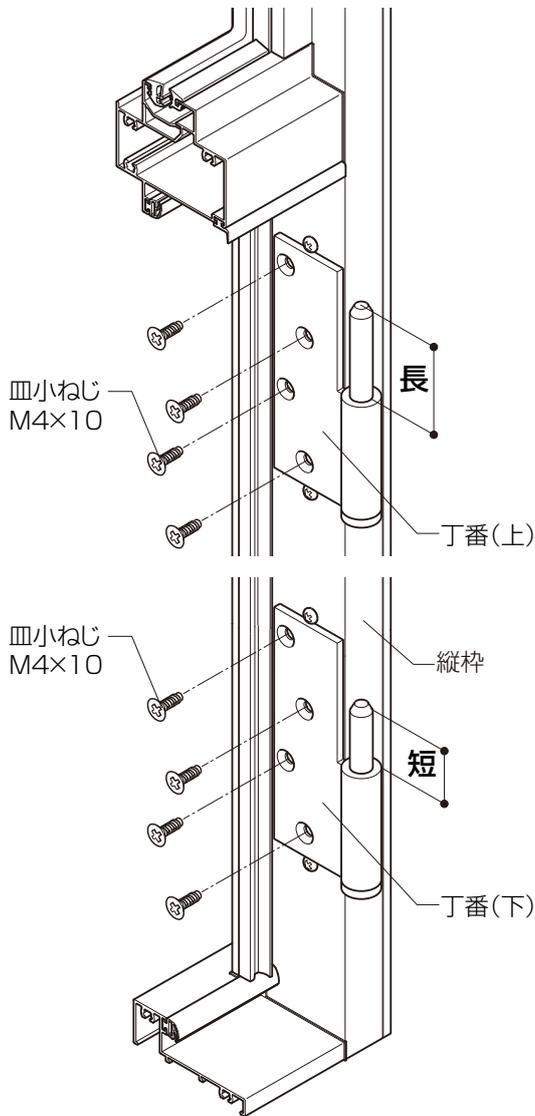


■ 丁番の取付け・ドア本体のつり込み

▲ 注意

- 丁番取付けねじは、奥まで締め付けてください。ドア本体の脱落の原因になります。

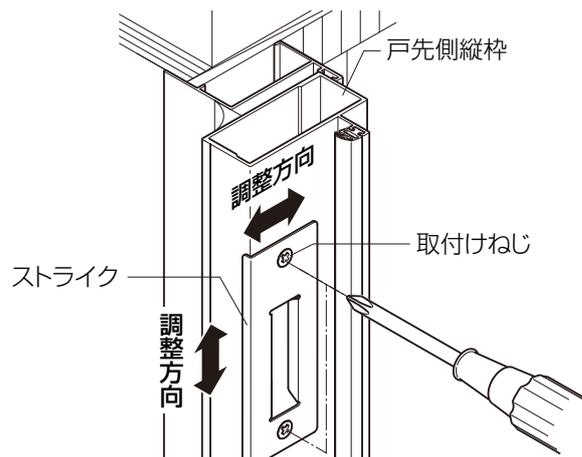
- ① 丁番には上・下の区別があります。軸の長い丁番は上、軸の短い丁番は下になるように取付けます。(取付けねじは丁番セットに同梱されています。)
- ② ドア本体を①・②の順でつり込みます。



■ 建付け調整

■ ストライクの調整

- ドアロックのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。



■ドア本体の調整

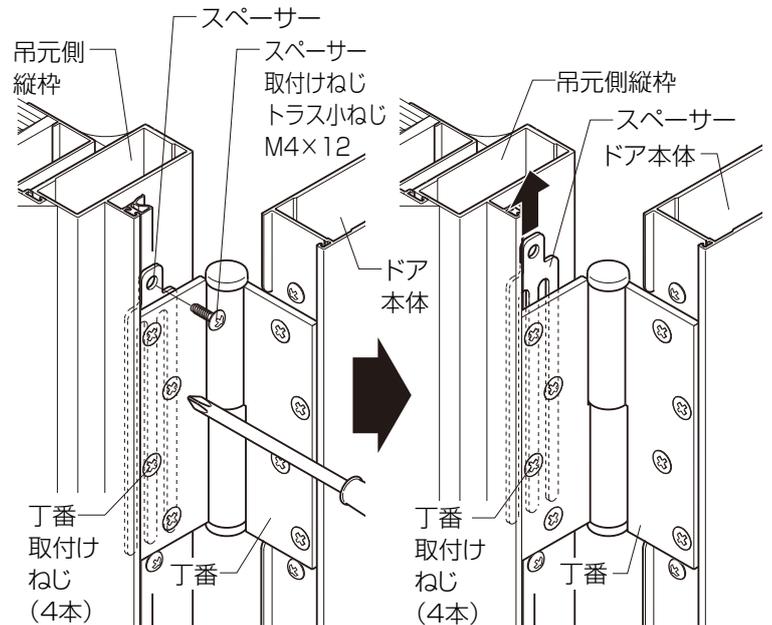
※ドア本体をつり込んだ後、枠とドア本体のすき間が納まり図通りであるか確認してください。
納まり図通りでない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。

〔左右方向のすき間の調整〕

※スペーサーはあらかじめ縦枠に取付けてあります。

- ①スペーサー取付けねじを外します。
- ②丁番取付けねじ（4本）をゆるめます。
- ③スペーサーを引き抜いて外します。
- ④丁番ねじを締め付けます。

※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mmドア本体がつり元側へ寄ります。
※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。



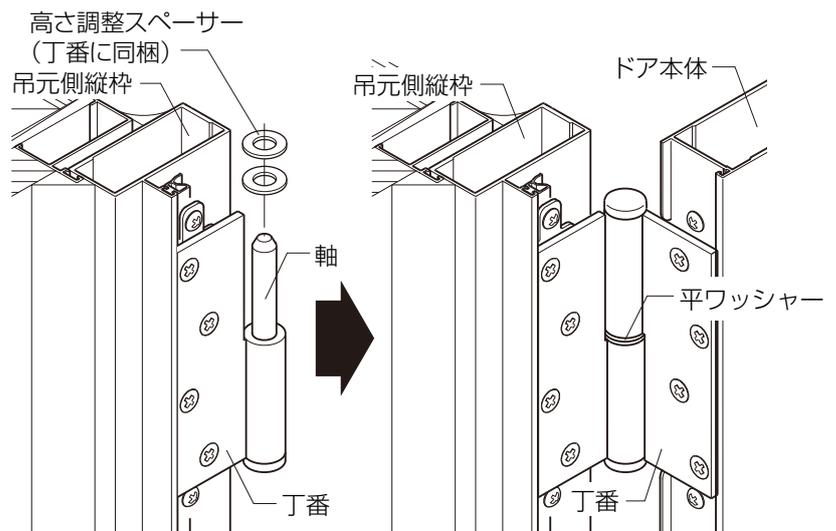
▲注意

●丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落します。

〔上下方向のすき間の調整〕

●ドアを枠から外し、丁番の軸に付属の高さ調整スペーサー（丁番と同梱）を入れます。

※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mmドアが上に上がります。



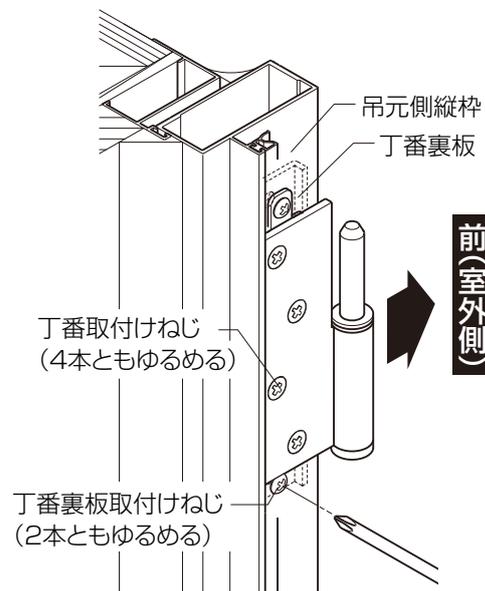
〔前後（室内・室外側）方向の調整〕

①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ（4本）と丁番裏板取付けねじ（2本）をゆるめます。

お願い

※取付けねじを全部外さないでください。丁番裏板が脱落します。

- ②丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にズラすと-1.5mmまでドア本体が動きます。
- ③①でゆるめた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締め付けます。



■内額縁の取付け

①内額縁の切詰め

①現場の納まりに合わせて、内額縁を必要な長さに切詰めます。

※内額縁は、枠H、Wで発注した場合、内額縁H = 枠H + 23、内額縁W = W + 46で設定されています。(P.33 参照)

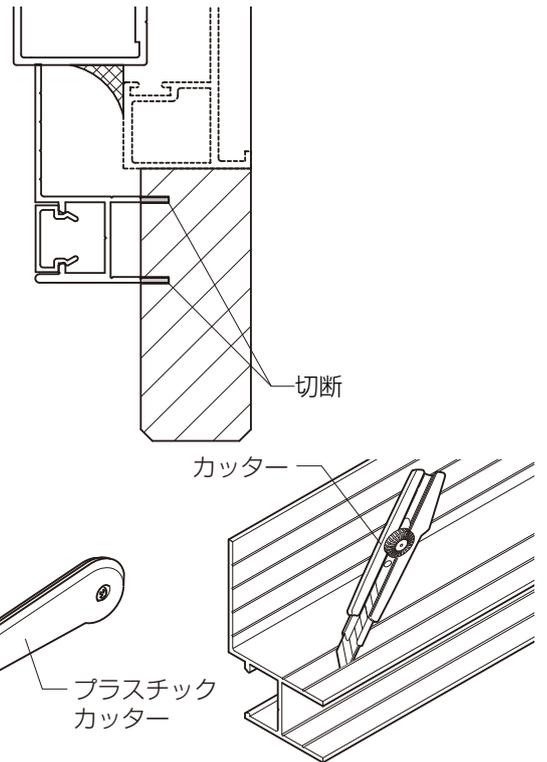
②既設の室内額縁の納まりに合わせて、内額縁を必要に応じて切断します。

【切断方法1】…丸のこを使用する場合

●納まりに合う位置に印を付け、丸のこで切断します。

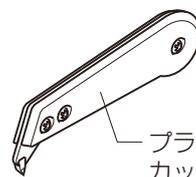
【切断方法2】…カッター・ペンチを使用する場合

●内額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の溝にカッター（プラスチックカッターなど）で部材全長に溝を切込みます。この時アルミ型材の厚みを6割以上切込んでください。



●ペンチ（モンキーレンチなど）で下図のように3段階の角度にわけて折り曲げます。

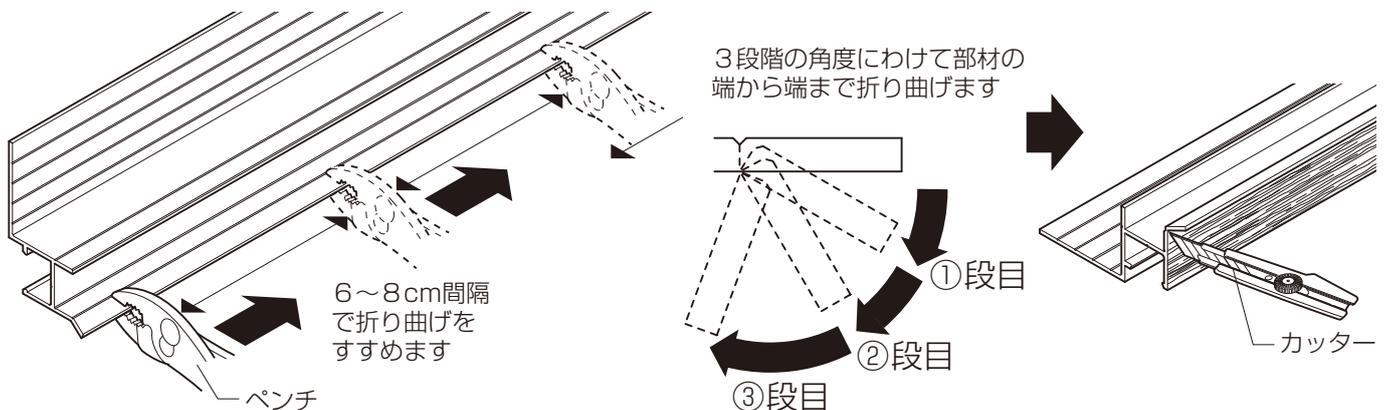
①段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げます。同じように②段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げてから、③段目まで折り曲げて切離します。木目色の場合、最後に木目シート1枚でつながっている状態になってからカッターで木目シートを切離してください。



●お願い

※無理に折り曲げたり、部分的に1度で折り曲げないでください。ひずみの発生や、木目色の場合木目シートがはがれるおそれがあります。折り曲げがかたい場合はもう一度カッターなどで溝を深く切込みなおしてください。

※サンダーなど、熱を発する刃物で切断しないでください。木目シートやアルミ表面が焼けるおそれがあります。



②内額縁の取付け

※㊸丸木ねじφ 3.8 × 32 で取付けます。

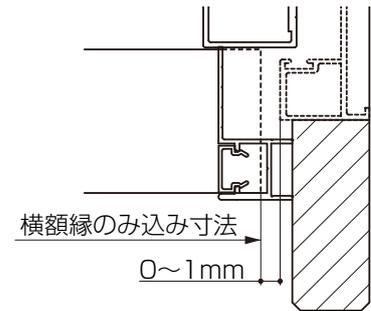
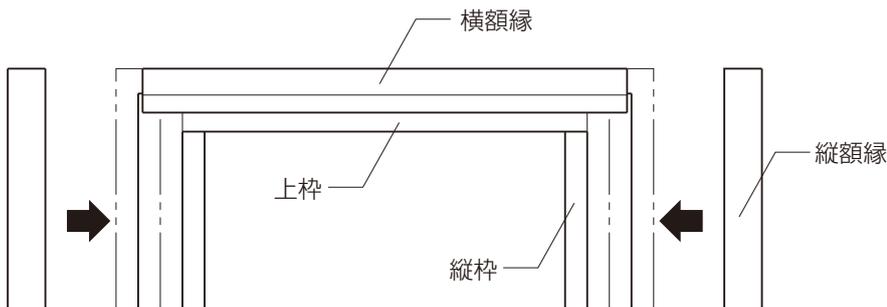
- ①既設枠が隠れるようにし、下図の位置に横額縁を取付けます。
- ②横額縁に溝ふたを取付けます。
- ③既設枠が隠れるようにし、切欠き部を横額縁にはめて縦額縁を取付けます。
- ④縦額縁に溝ふたを取付けます。

※溝ふたは完全にはめ込んだことを確認してください。

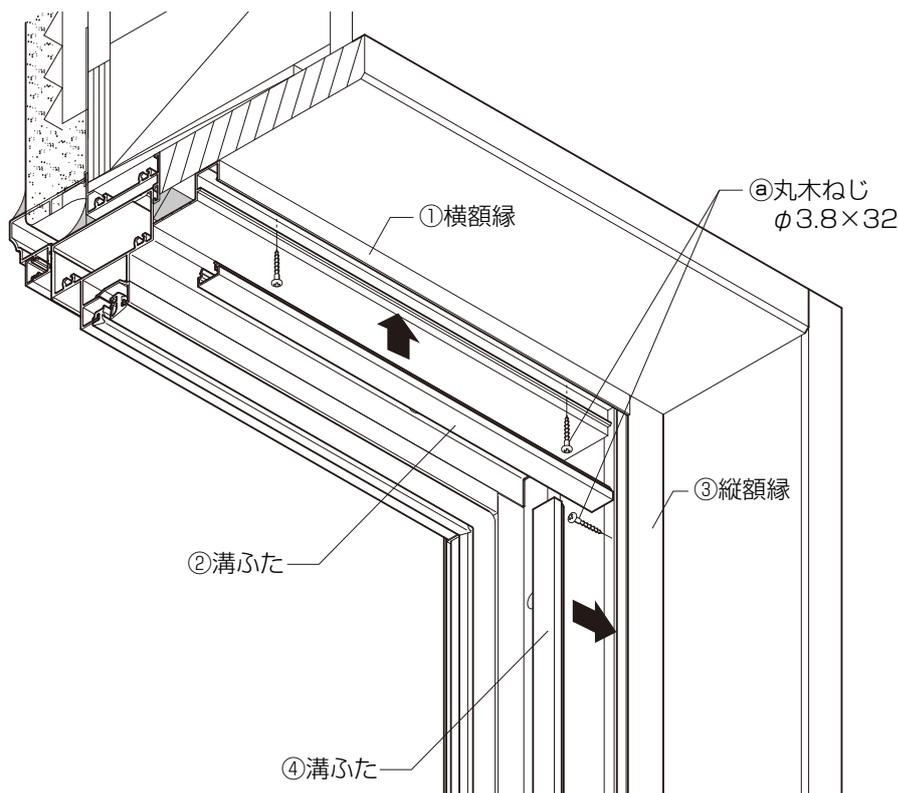
■使用ねじ一覧

㊸
内額縁 (小) 取付け用

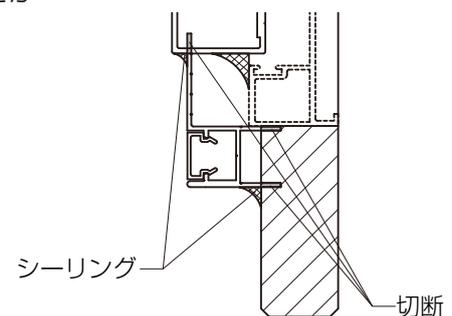
丸木ねじφ 3.8 × 32



※横額縁は、既設枠にあたらないよう1mm程度の余裕をあけて縦額縁にのみ込ませてください。



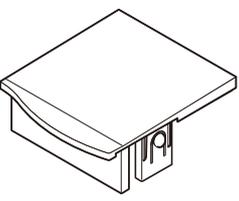
※内額縁を切断し、切り口が目立つ場合や、既設の室内額縁などが反っている場合は、シーリングで隠してください。



■外額縁（中）の取付け

※外額縁は、中・小の2種類あります。現場の納まりに合わせて部材を選択し、取付けてください。
 ※外額縁は、本体を吊り込んだ後に取付けてください。順序を間違えると取付けができなくなります。

■使用ねじ一覧

①	②	③	④	⑤
額縁取付け用	額縁組立て用	額縁キャップ	穴ふさぎシール (φ15)	プッシュボタン
				
なべドリルねじ φ4×13	なべタッピンねじ φ4×90			

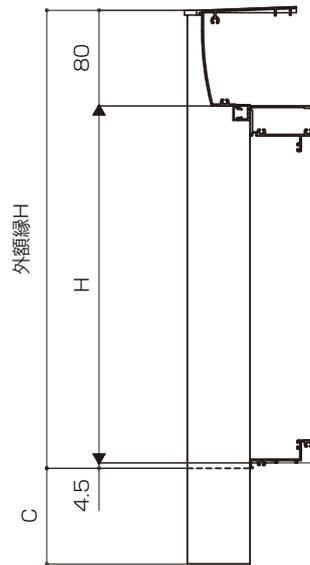
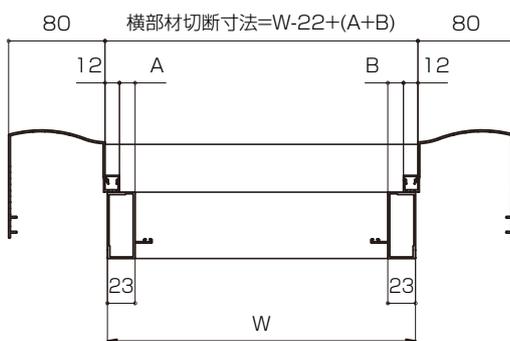
1 切詰め加工

※外額縁（中）は、枠H、Wで発注した場合、
 外額縁H = 枠H + 84.5、外額縁W = 枠W + 164
 で設定されています。(P.33 参照)

①現場の納まりに合わせて切詰める場合、外額縁（横）、溝ふた（横）の切断寸法は、
 下表の切断寸法計算式より算出してください。

※外額縁（縦）の下部の位置は通常は右図の位置（破線部）となります。
 下部を伸ばして取付ける場合は、C寸法をプラスして発注してください。

部材名	切断寸法計算式
外額縁（中）	$W-22+(A+B)$
溝ふた	$W-22+(A+B)$



②外壁の納まりに合わせて、外額縁を必要に応じて切断します。

【切断方法1】…丸のこを使用する場合

●納まりに合う位置に印を付け、丸のこで切断します。

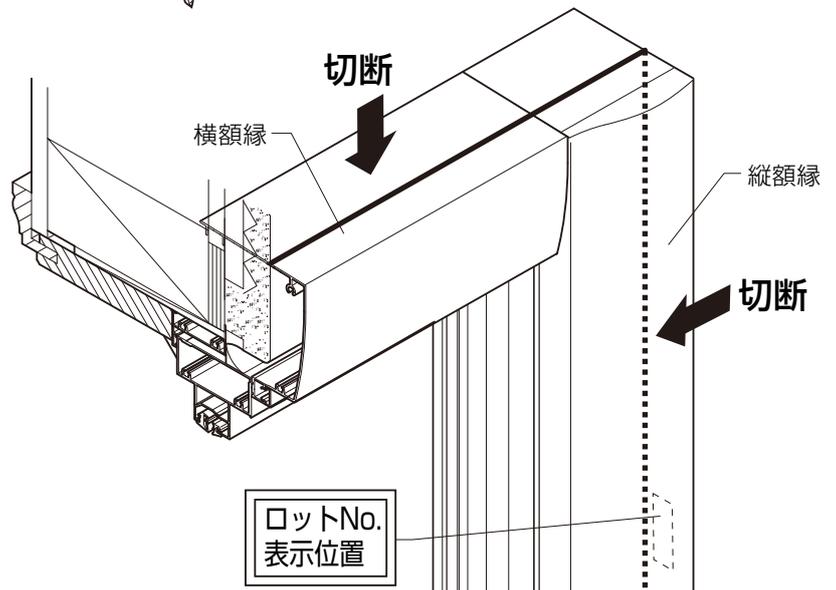
【切断方法2】…カッター・ペンチを使用する場合

●外額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の溝にカッター（プラスチックカッターなど）で部材全長に溝を切込みます。この時アルミ型材の厚みを6割以上切込んでください。



●ペンチ（モンキーレンチなど）で下図のように3段階の角度にわけて折り曲げます。

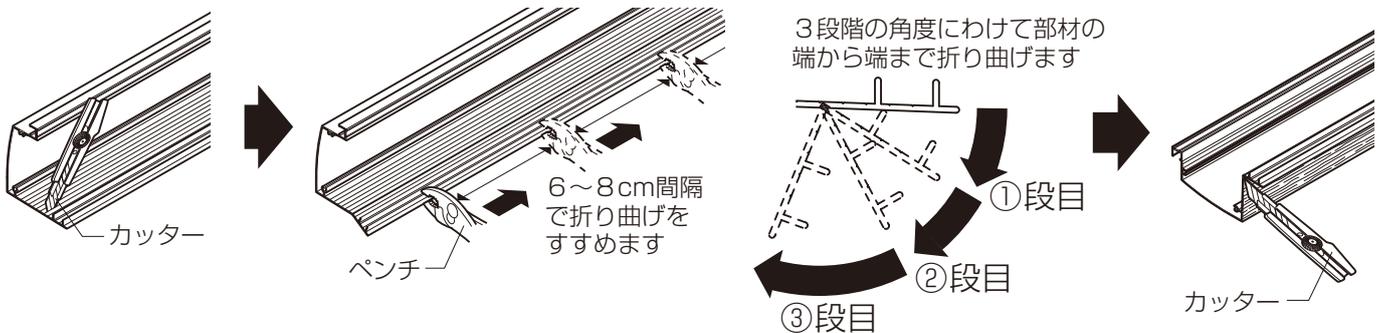
①段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げます。同じように②段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げてから、③段目まで折り曲げて切離します。木目色の場合、最後に木目シート1枚でつながっている状態になってからカッターで木目シートを切離してください。



お願い

※無理に折り曲げたり、部分的に1度で折り曲げないでください。ひずみの発生や、木目色の場合木目シートがはがれるおそれがあります。折り曲げがかたい場合はもう一度カッターなどで溝を深く切込みなおしてください。

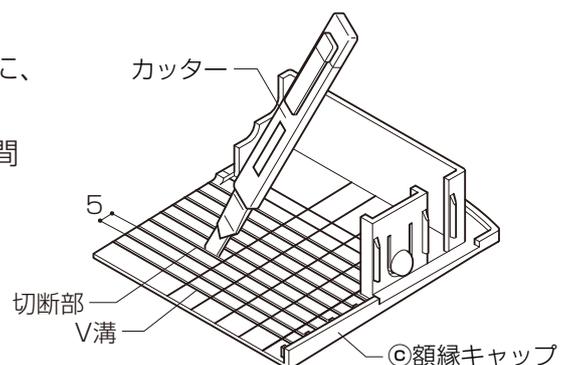
※サンダーなど、熱を発する刃物で切断しないでください。木目シートやアルミ表面が焼けるおそれがあります。



2 額縁キャップの切断

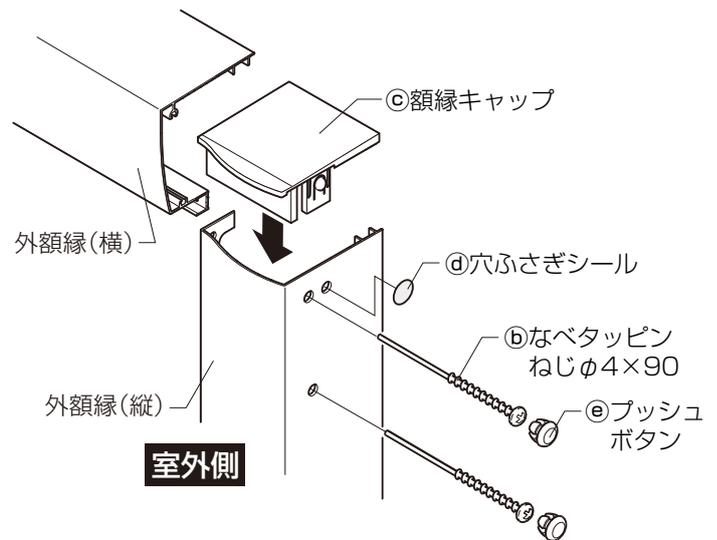
●納まりに合わせて切詰めた外額縁と同じ位置にくるV溝に、カッターで数回切れ目を入れ、カットしてください。

※額縁キャップには、カッターで切りやすいように5mm間隔でV溝が入っています。



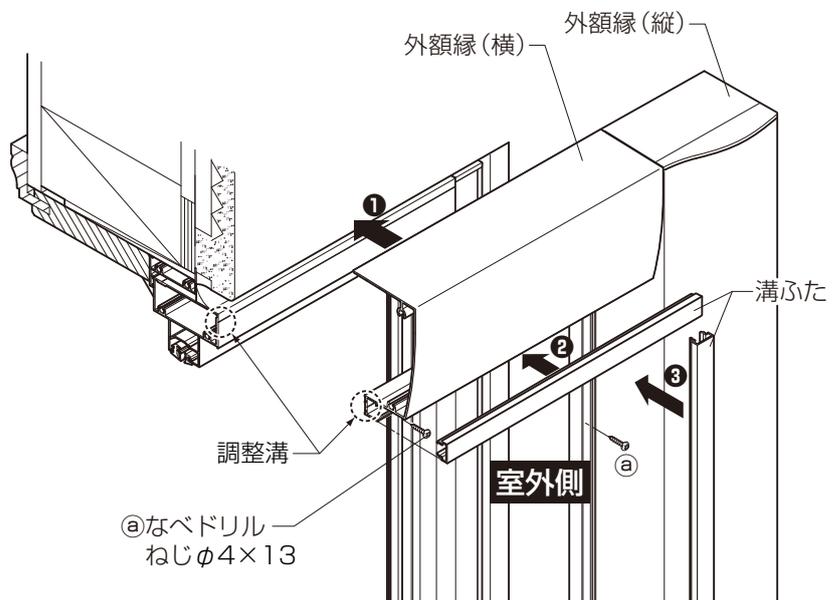
3 外額縁の組立て

- ①外額縁（縦）、（横）、㉔額縁キャップとともに、㉕なベタッピンねじ $\phi 4 \times 90$ で組立えます。
- ②組立て後、取付ガイド穴に㉖プッシュボタンを取付けてください。
- ③額縁キャップの固定穴に、㉗穴ふさぎシールを張付けてください。



4 外額縁の取付け

- ①組立てた外額縁を、枠の調整溝に差込み、㉘なベドリルねじ $\phi 4 \times 13$ で枠に取付けます。
 - ②溝ふたを外額縁（縦）、（横）に取り付けます。
- ※溝ふたは、完全にはめ込んだことを確認してください。



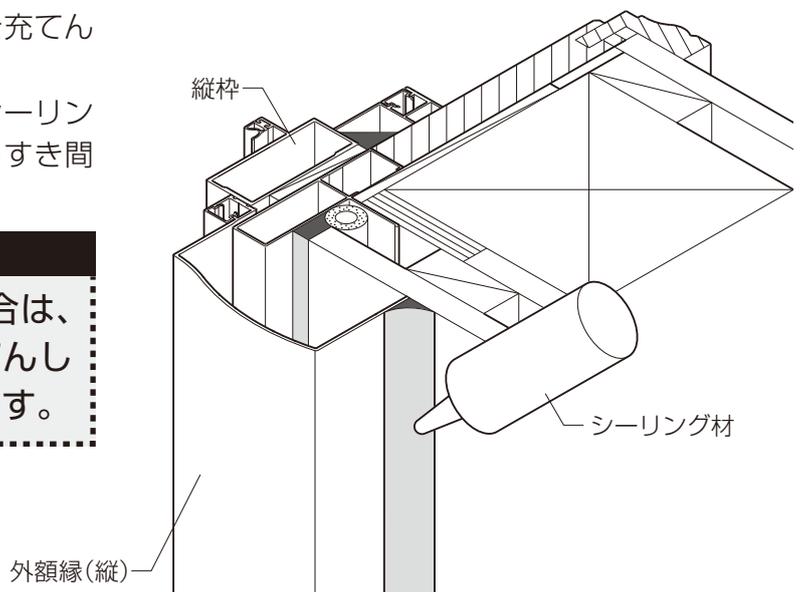
■外周部のシーリング処理

雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てんします。

※下枠部・外額縁下部については、全面シーリングをせずに、両端部から水が抜けるようすき間を確保してください。

▲注意

- 外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。



■外額縁（小）の取付け

※外額縁（小）は、枠H、Wで発注した場合、
外額縁H = 枠H + 27.5、外額縁W = 枠W + 51
で設定されています。（P.33 参照）

①現場の納まりに合わせて額縁を切詰めます。

※①φ 4 × 13 なベドリルねじで取付けます。

②上枠の調整溝に合わせ、下図の位置に横額縁を取付けます。

※取付け位置が違くと、縦額縁が取付けられません。

③横額縁に溝ふたを取付けます。

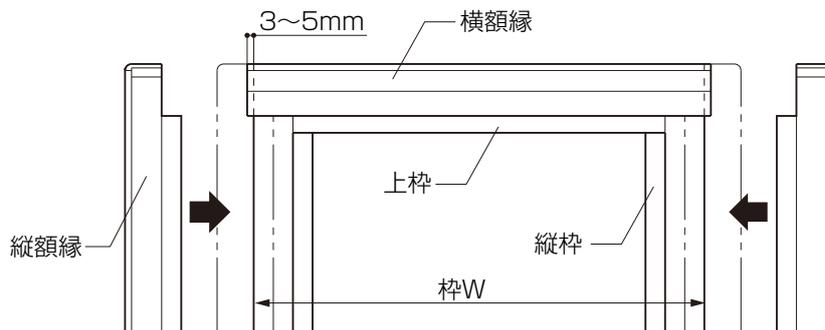
④縦枠の調整溝に合わせ、切欠き部を横額縁にはめて縦額縁を取付けます。

⑤縦額縁に溝ふたを取付けます。

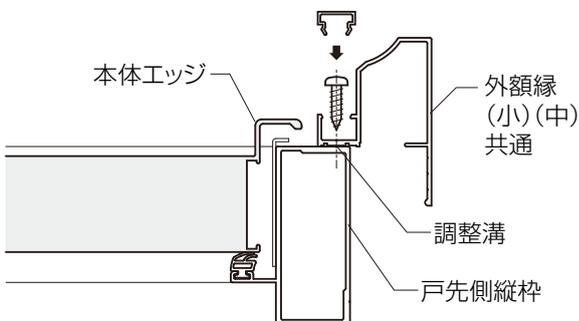
■使用ねじ一覧

①
額縁取付け用

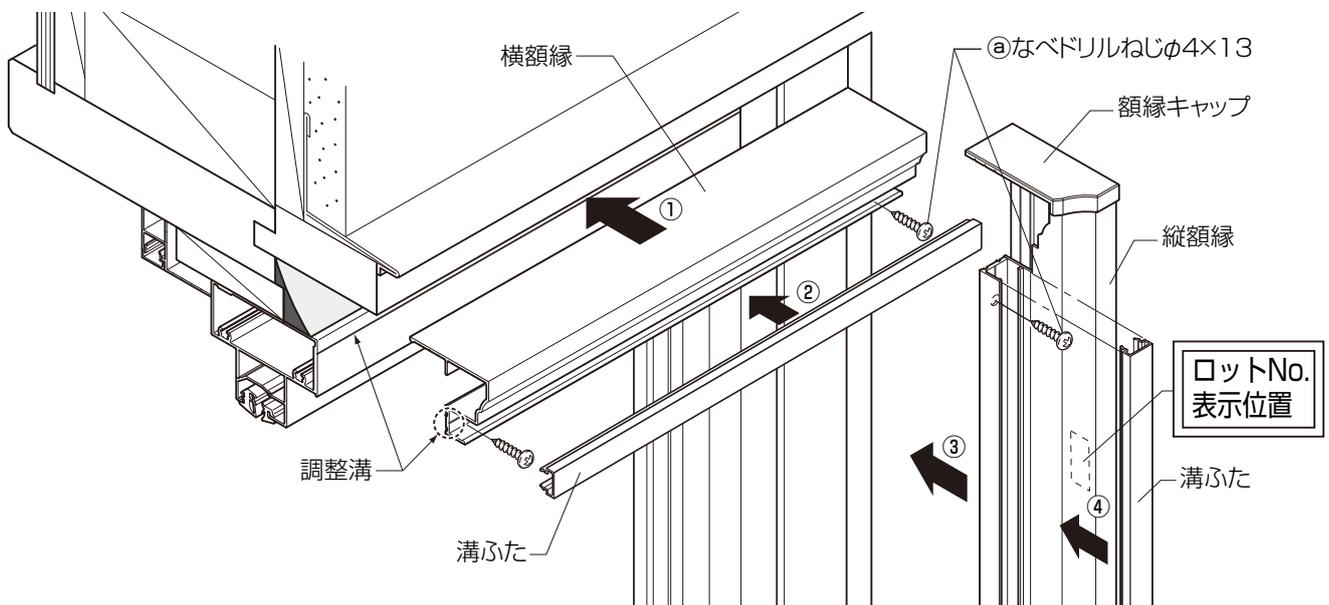
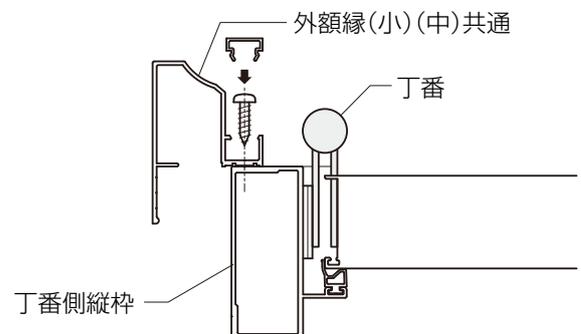
なベドリルねじ φ 4 × 13



※片開きの場合、戸先側縦枠に取付ける額縁は、
本体エッジが当たらない位置に取付けてくだ
さい。



※丁番側に取付ける額縁は、丁番が当たらない
位置に取付けてください。



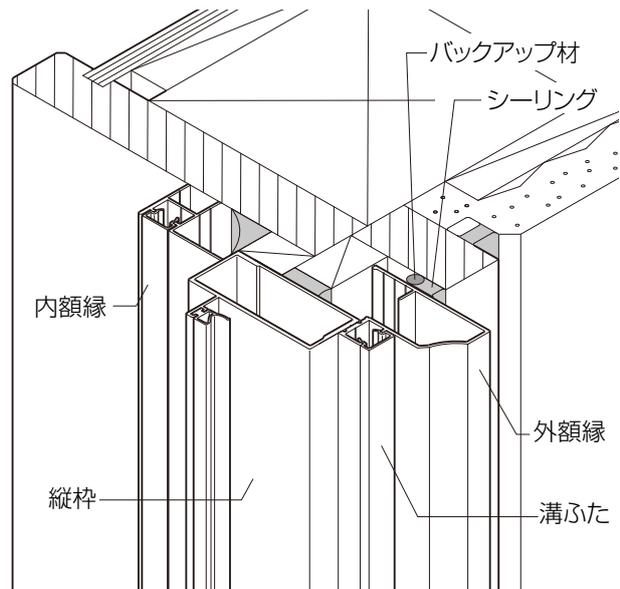
■外周部のシーリング処理

●雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てんします。

※下枠部・外額縁下部については、全面シーリングをせずに、両端部から水が抜けるようすき間を確保してください。

▲注意

●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

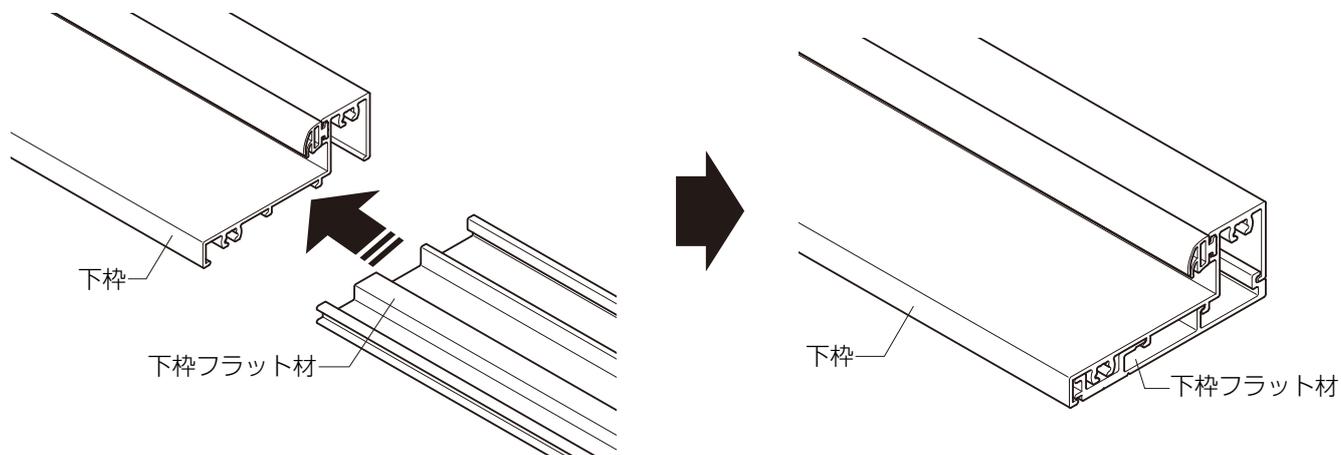


■下枠フラット材（別途有償品）の取付け

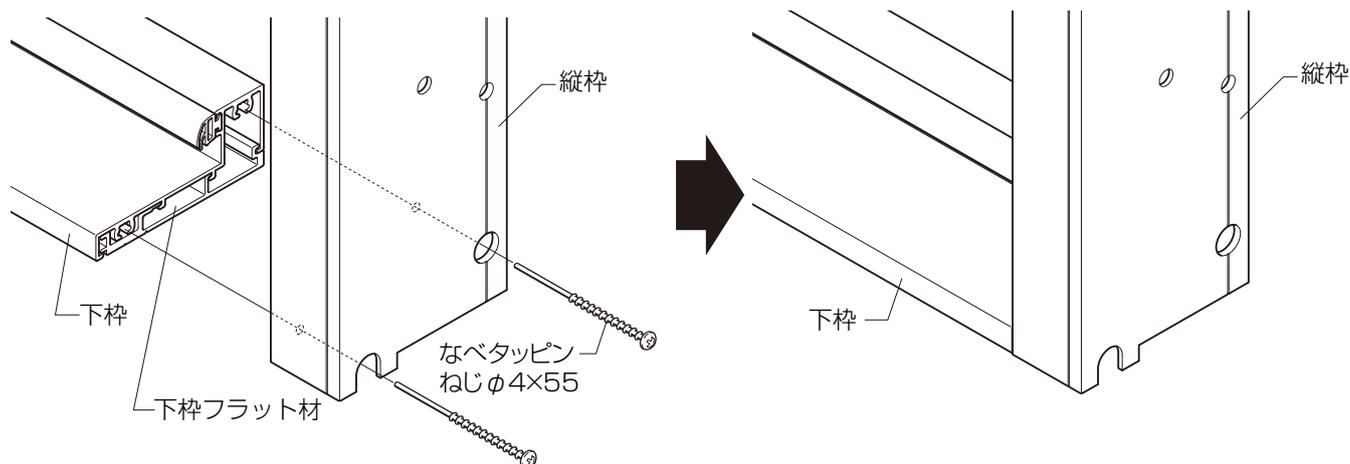
お願い

※下枠フラット材は必ず枠組立てと同時に取付けてください。

①下枠フラット材を下枠に差込みます。



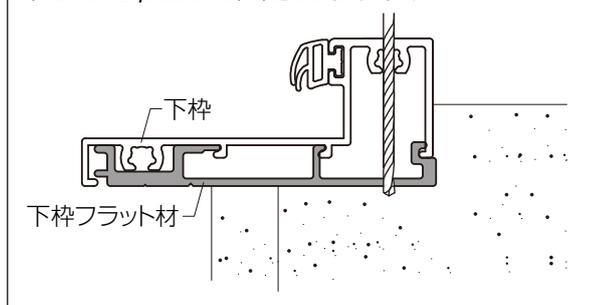
②下枠と縦枠を固定し、枠を組立てます。



③下枠取付け穴から下枠フラット材を貫通させてドリルでφ3.5の穴をあけます。
P.15 ⑥～⑧の手順に従って下枠を固定します。

■皿セルフタッピンアンカーねじの取付け

ドリルでφ3.5の穴をあけます。



■下枠用Lアングル（別途有償品）の取付け

お願い

※この部材は下枠とポーチ面の立上がり大きい納まりに使用してください。

※下枠用Lアングルは、必ず枠組立てと同時に取付けてください。

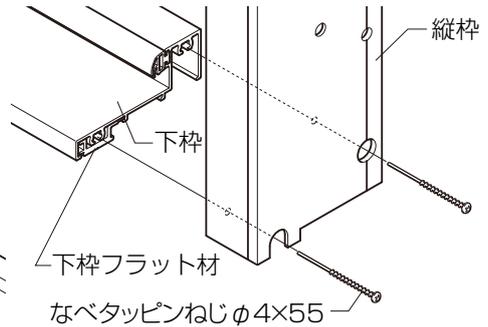
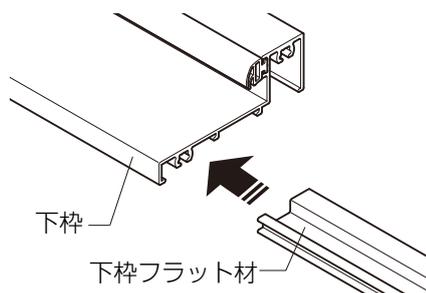
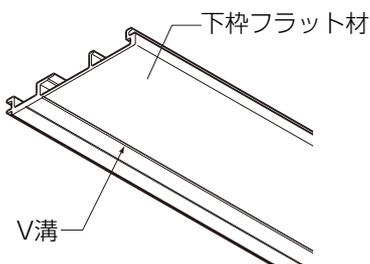
■使用ねじ一覧

①	②
下枠用Lアングル固定用	躯体（既存枠）固定用
	
M4 x 8 なベドリル小ねじ	φ5 x 70 なべセルフタッピングアンカーねじ

①下枠フラット材のV溝を丸ノコで切断します。

②下枠フラット材を下枠に差込みます。

③下枠と縦枠を固定し、枠を組立てます。



④下枠用Lアングルを下枠フラット材に合わせ、下枠フラット材にφ3.5の下穴をあけます。

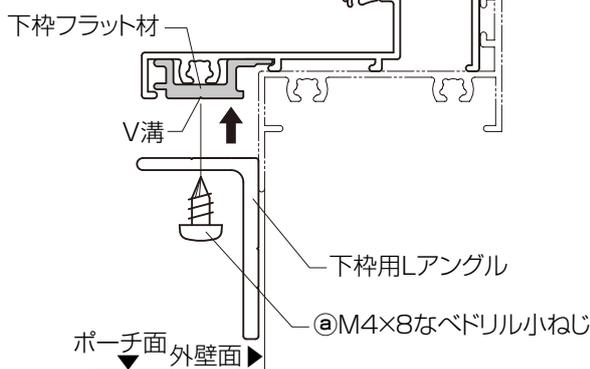
⑤① M4 x 8 なベドリル小ねじで下枠用Lアングルを下枠フラット材に固定します。

※下枠用Lアングルは、既存の下枠（躯体）に固定する前に取付けてください。

※下枠用Lアングルが外壁に密着する位置のV溝を選んで、下枠用Lアングルを下枠フラット材に取付けてください。

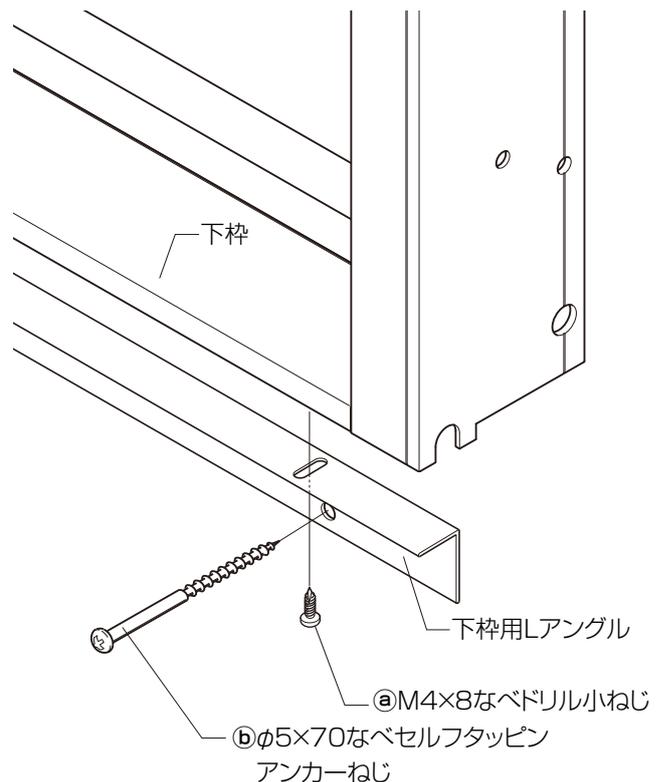
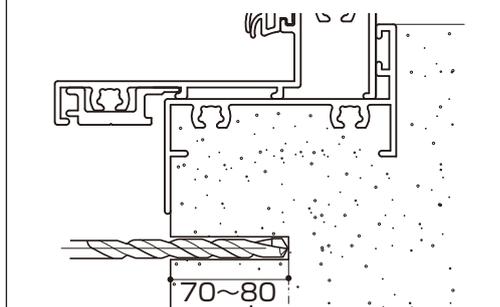
⑤躯体外壁面にドリルでφ4.3の穴をあけ、②φ5 x 70 なべセルフタッピングアンカーねじで固定します。

■下枠用Lアングルの取付け



■なべセルフタッピングアンカーねじの取付け

ドリルでφ4.3の穴をあけます。



■下柵段差緩和材（別途有償品）の取付け

お願い

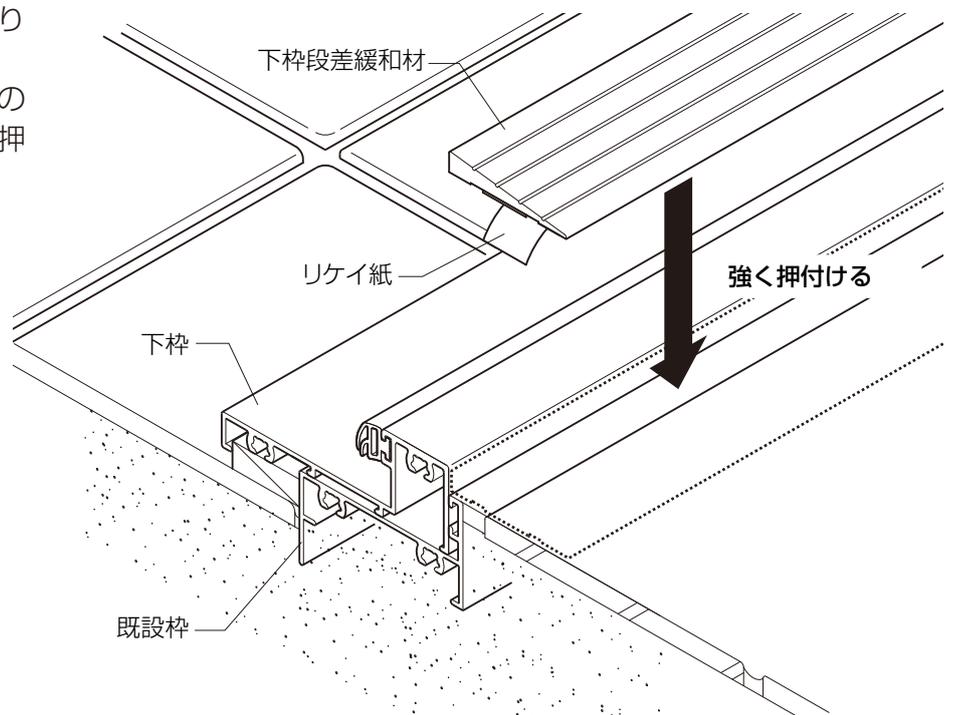
※この部材は、新しい柵を取付けた際、室内側の土間の段差が大きい場合に使用してください。

▲注意

●下柵段差緩和材の両面テープの接着力が低下し、下柵段差緩和材が外れ、思わぬケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

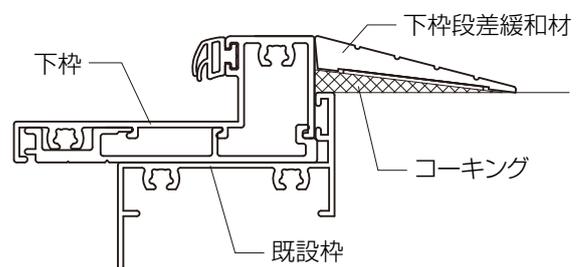
- ・張直しをしないでください。
- ・取付け前に床を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
- ・床に強く押付け、必ず圧着してください。
- ・接着効果を確保するため、24時間放置してください。

- ①下柵段差緩和材を現場の納まりに合わせて切詰めます。
- ②下柵段差緩和材の両面テープのリケイ紙をはがし、床に強く押付けて圧着してください。



■新しい柵の下柵と床の段差が大きい時

- 段差部分にコーキングし、その上到下柵段差緩和材を固定してください。その際、下柵段差緩和材の両面テープのリケイ紙ははがしてください。



■ランマガラスの取付け

〔ランマ〕

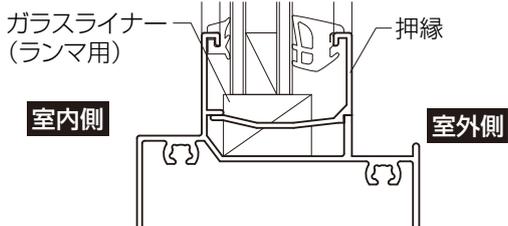
●ガラスをライナーのないほうからけんどんで入れ、ガラスを持上げてガラスライナーをガラスの下に置きます。
押縁を取付け、後付けビードで固定します。

※ガラスライナーの向きを確認してください。

※押縁の両端末にシーリング材を充てんしてください。

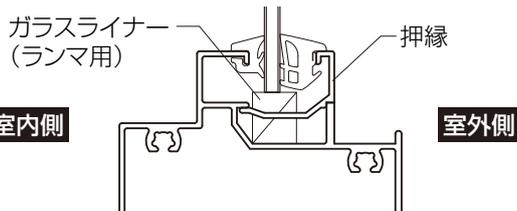
■ガラスライナーの向き (PG仕様)

〈ランマ部〉



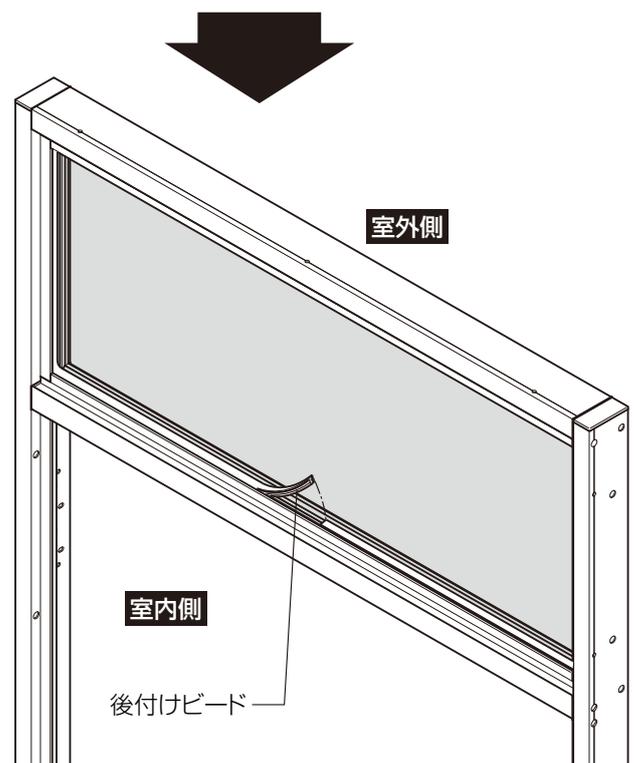
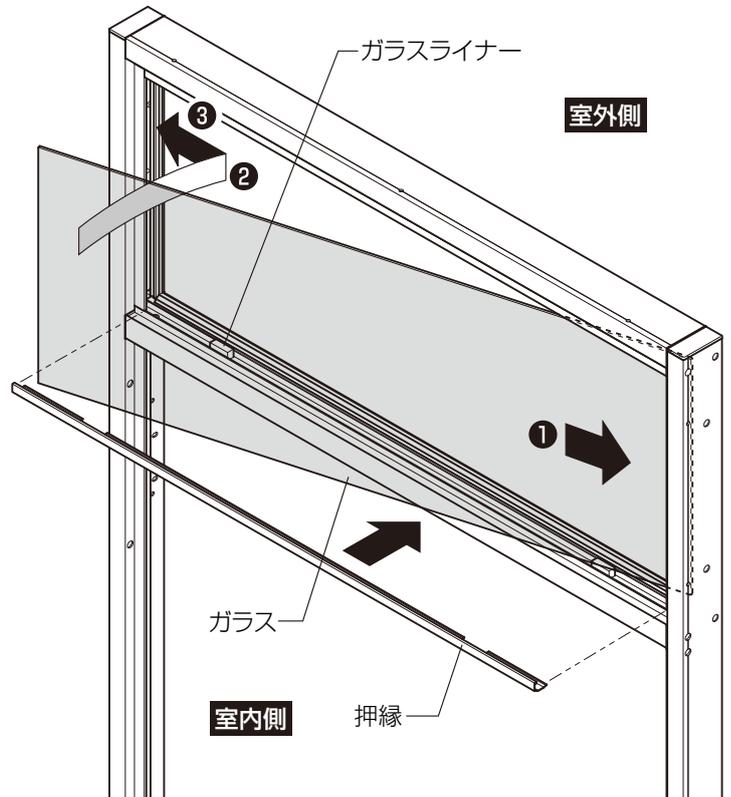
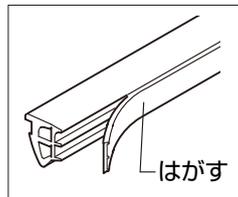
■ガラスライナーの向き (SG仕様)

〈ランマ部〉



〈後付けビードの使い方〉 (PG仕様のみ)

※同梱のビードは、18～22mm ガラス用です。
納まりがきつい場合は、ビードが2段はくり式となっていますので、きつさに応じてはがしてください。



リシエント勝手口ドア 取付けチェックポイント集

1. 現場チェック項目一覧
2. 現場調査前確認事項
3. 現場調査時確認事項
4. 取付け現場採寸時の確認事項

1. 現場チェック項目一覧

■現場チェック項目一覧

※製品を正しく取付けいただくために、下記項目を必ず確認してください。

	チェック項目	チェック
事前に電話などで確認する項目	取付ける建物の構造は木造土間納まりですか？	はい・いいえ
現場にて確認する項目	取付ける柱への枠の取付けねじのかかり寸法は 20mm 以上ですか？	はい・いいえ
	取付ける柱が腐っていませんか？	はい・いいえ
	既設枠開口周り（外壁など）に漏水のあとはありませんか？	はい・いいえ
	取付ける柱への枠の取付けねじのねじ込みトルクは、1.2N・m（12kgf・cm）以上ですか？	はい・いいえ
	既設枠の開口寸法は、指定箇所を測定した際製品の切詰め（対応）寸法範囲内ですか？	はい・いいえ
	周辺環境（軒天、入隅納まり）において、製品取付けに支障はありませんか？	はい・いいえ

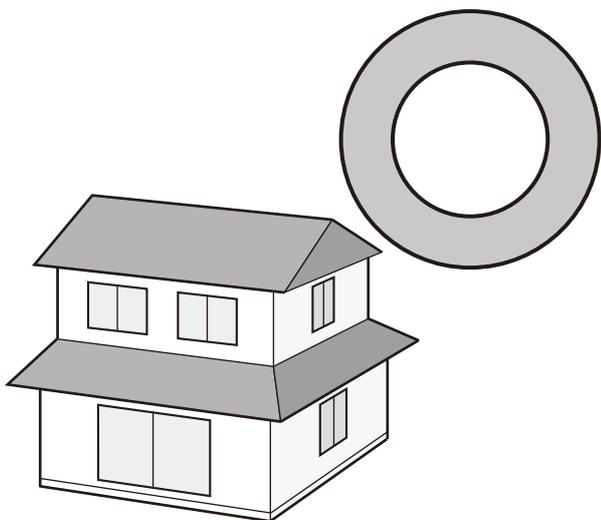
2. 現場調査前確認事項

●リシエント勝手口ドアは木造専用です。

※木造以外の躯体構造への取付けはできません。

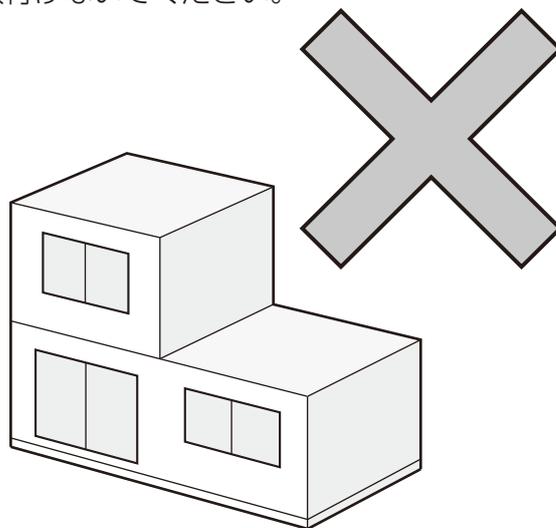
■取付け可

在来木軸工法、204 構造など木造納まりに取付けてください。



■取付け不可

鉄骨造、RC 造、ALC 納まりなどには取付けないでください。

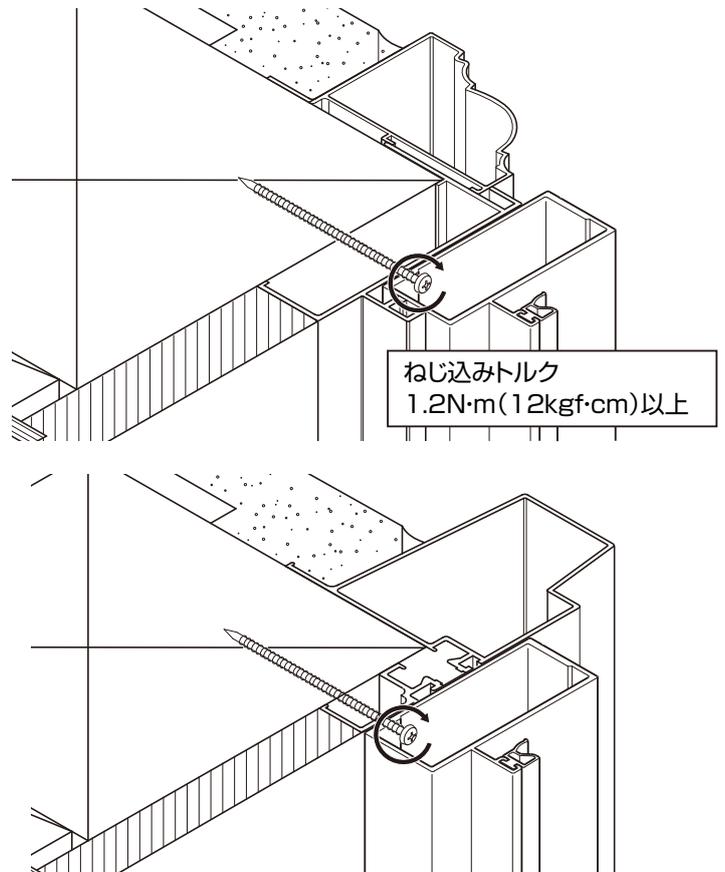
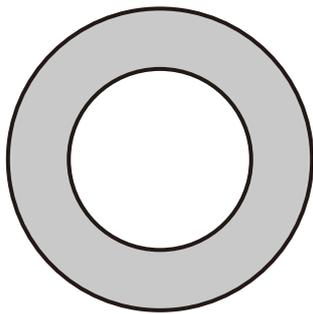


3-1. 現場調査時確認事項

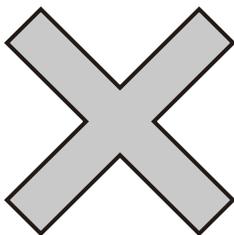
● 躯体取付けねじのねじ込みトルクが $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ ($12\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以上あることを確認してください。

■ 取付け可 内付枠

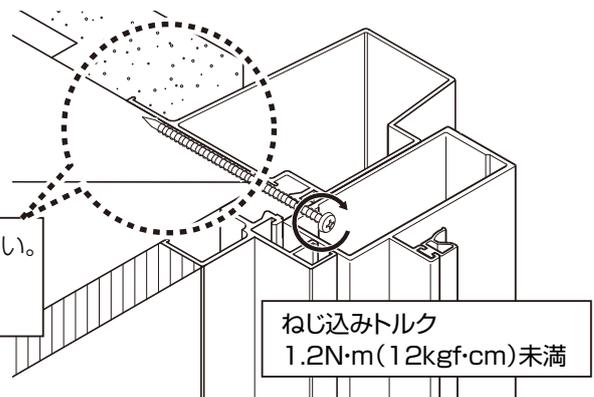
指定のねじ（なべタッピンねじ $\phi 4 \times 60$ ）が上記の柱位置で $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ ($12\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以上のねじ込みトルクがあることを確認してください。



■ 取付け不可 半外付枠

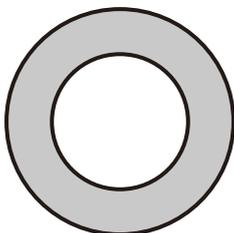


柱にねじがかかっていない。
柱が腐っている
ねじのかかりが少ない。

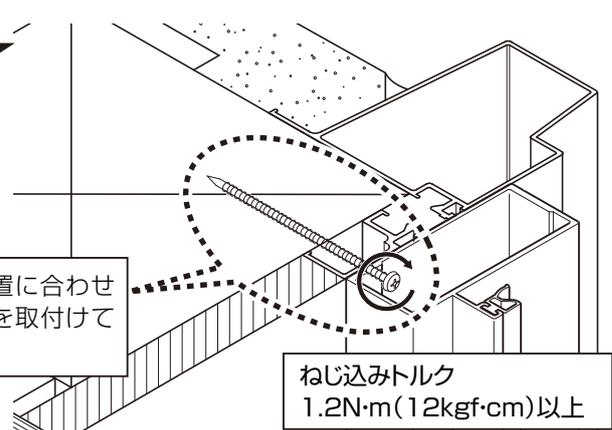


■ 取付け可 半外付枠

既設枠のリブを取除き、指定のねじ（なべタッピンねじ $\phi 4 \times 60$ ）が柱にかかっていることを確認してください。

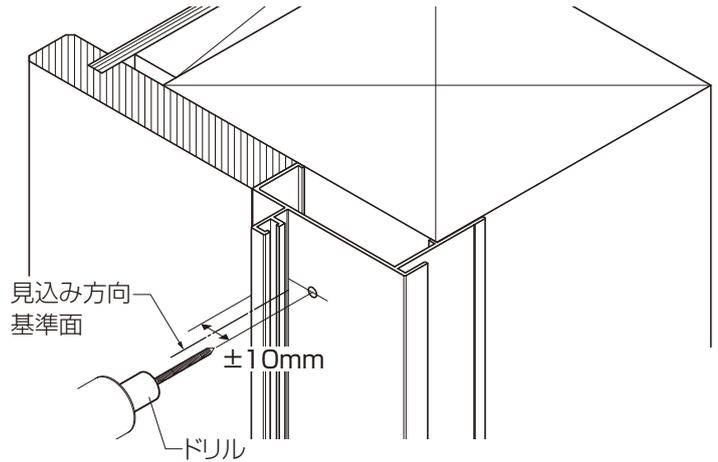


既設枠のねじ位置に合わせて
リシェント枠を取付けて
ください。



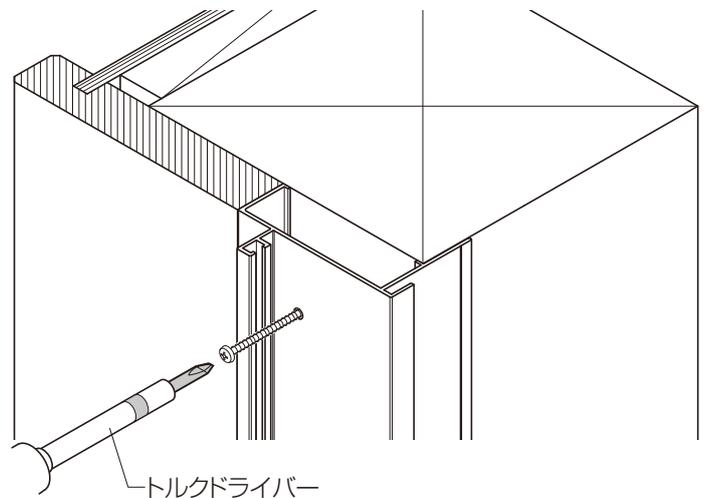
【ねじ込みトルクの確認方法】

- ①新しい枠を取付ける際の既設枠の見込み方向基準面付近±10mmの位置にφ5の穴をあけます。



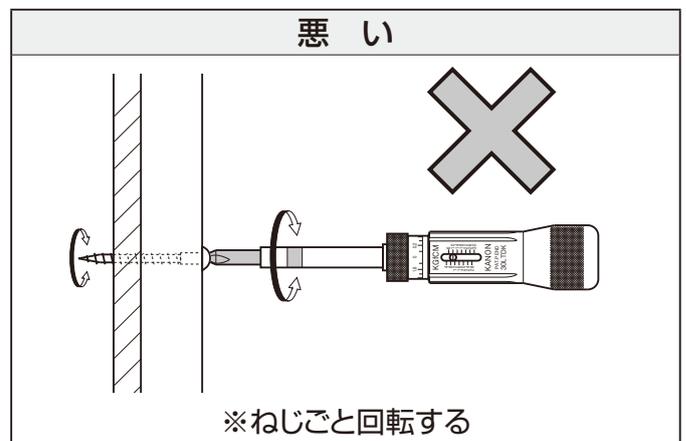
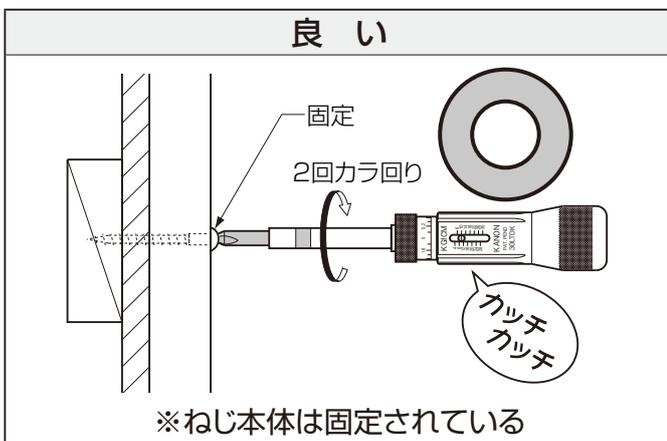
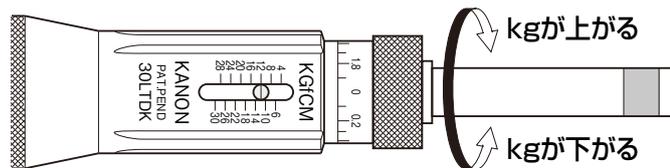
- ②新しい枠の取付けねじ（なべタッピンφ4×60（1種））を用いて取付けます。そのときのねじ込みトルクは、 $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ （ $12\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ）以上であることを確認してください。

※確認後の穴はシーリング処理にて穴をふさいでください。



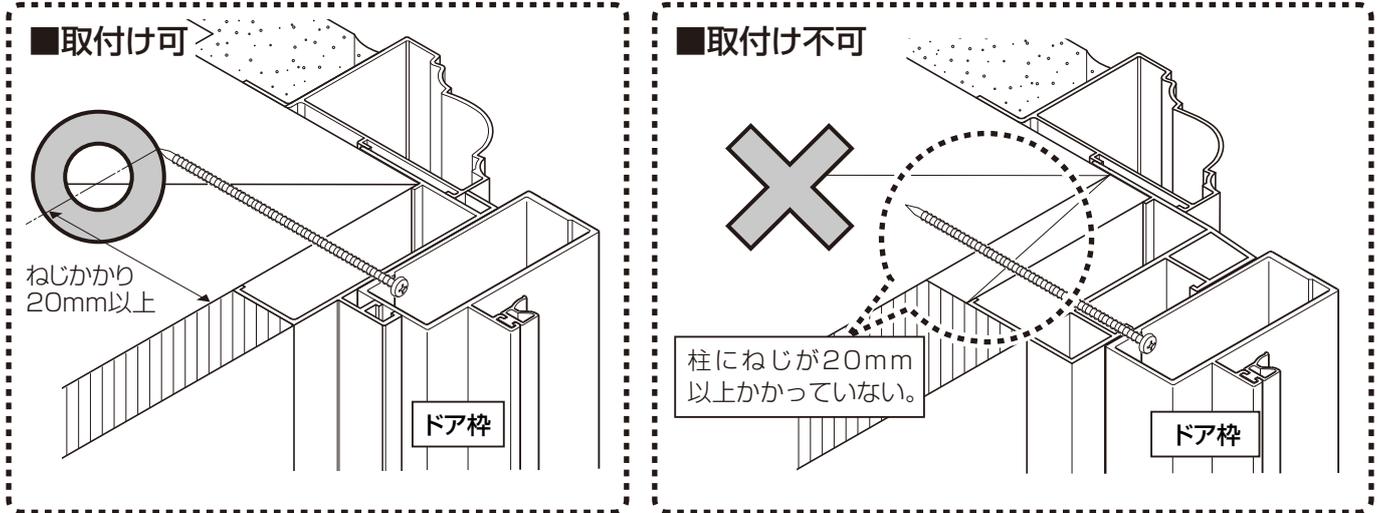
■トルクドライバー目盛り合わせ

- トルクドライバー目盛り合せ設定 $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ （ $12\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ）



3-2. 現場調査時確認事項

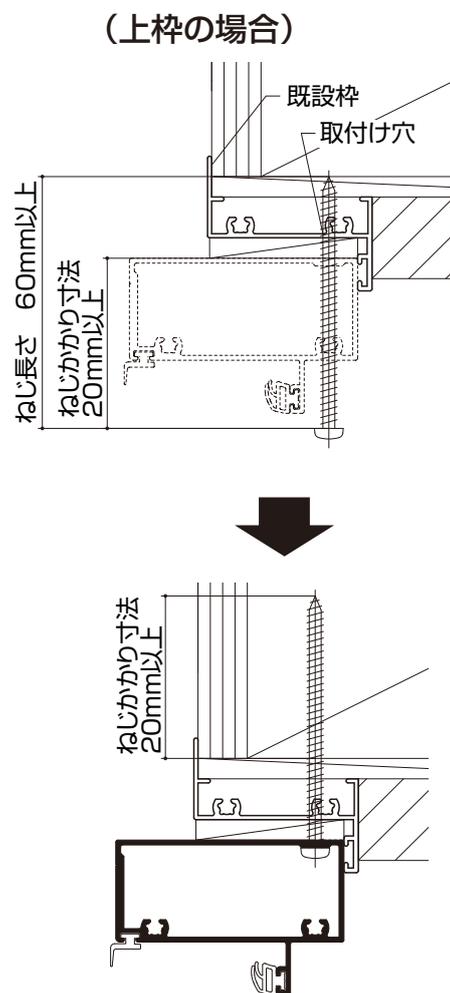
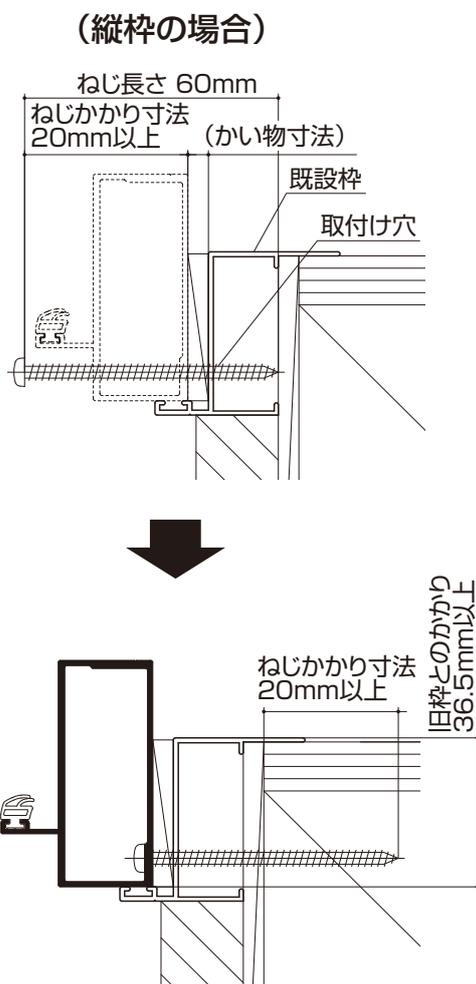
● 枠取付けねじは柱（躯体）に 20mm 以上かかることを確認してください。



【ねじかかり寸法の確認方法】

ねじ込みトルクの確認時にあけた既設枠の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが 20mm 以上であることを確認してください。

※ねじ長さ 60mm



4. 取付け現場の採寸時確認事項

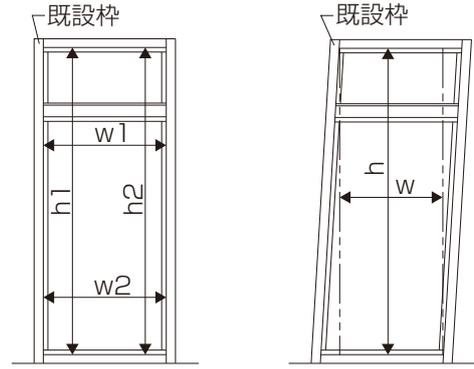
① 製品製作範囲による条件

- 既設枠開口部の寸法測定を行い、製品基本寸法を算出し、寸法特注範囲内であることを確認してください。

■ 製品基本寸法設定

- 右図のように既設枠に歪みがある場合は、水平垂直での寸法を測定してください。

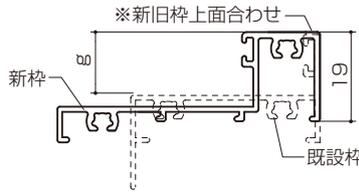
※ 既設枠開口寸法は、 $h \cdot w$ とも各2箇所測定し、小さいほうの寸法に決めます。製品基本寸法は既設開口寸法よりHは5mm、Wは10mm程度小さくします。



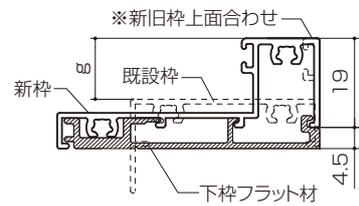
既設枠開口寸法	下枠フラット材	換算公式		製品基本寸法
h1:	使用しない場合	—	$H=h$ (小さい方) -5	H:
h2:	使用する場合	既設下枠を取外して納める場合 (A)	$H=h$ (小さい方) $-g+14$	H:
		既設下枠の上に納める場合 (B)	$H=h$ (小さい方) -10	H:
w1:	—	—	$W=w$ (小さい方) -10	W:
w2:	—	—		

● 既設下枠を取外す場合

- ◎ 下枠フラット材(有償品)を使わない場合
※ gは既存枠の立上り寸法を示す。

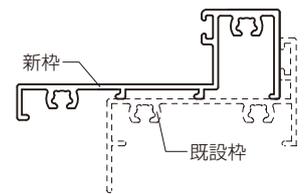


- ◎ 下枠フラット材(有償品)を使う場合
※ gは既存枠の立上り寸法を示す。

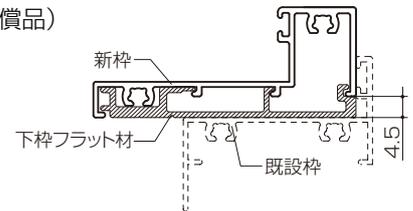


● 既設下枠の上に乗せる場合

- ◎ 下枠フラット材(有償品)を使わない場合



- ◎ 下枠フラット材(有償品)を使う場合



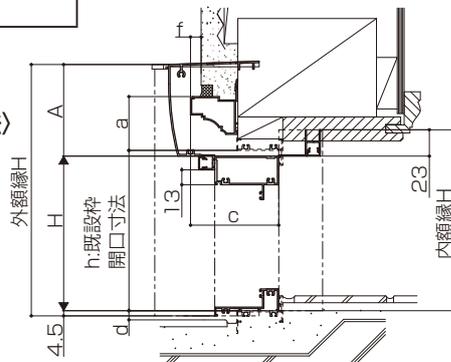
② 既設枠形状による条件

a:
b:
c:
d:
f:
g:

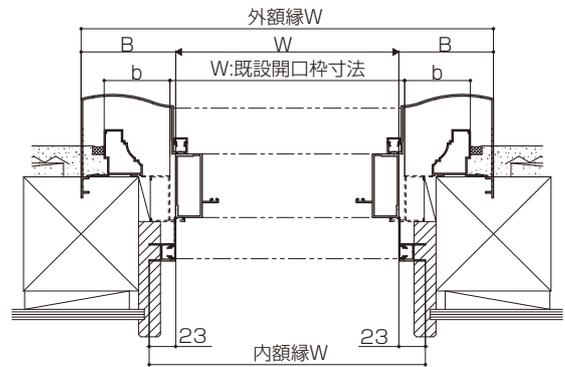
外額縁(中)	$a \leq 64, b \leq 75, c \leq 94$ のとき取付け可能。(f ≤ 26 まで対応可能。)
外額縁(小)	$a \leq 16, b \leq 19, c \leq 71$ のとき取付け可能。(f ≤ 7 まで対応可能。)
	$d \leq 5$ のとき新下枠がポーチに接触します。

※ 外額縁・内額縁の形状・寸法は納まり図を参照してください。

● 縦断面図



● 横断面図



※ g は下枠フラット材を使用しない場合は不要

(外額縁・内額縁の基本寸法)

外額縁H = H+A+4.5
外額縁W = W+2×B

内額縁H = H+23
内額縁W = W+46

	外額縁小	外額縁中
A	23	80
B	25.5	82

③ 周辺環境による条件

- 軒天に化粧額縁が接触する、玄関照明がドア開閉時に接触する、入隅納まり時に化粧額縁が外壁と干渉するなどを採寸時にあわせて確認してください。
- ランマ付きを通しにする場合、吊元の変更の場合、扉の開閉で玄関照明などにぶつかるなど、障害物がないことを確認してください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 (ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 (祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号 MAM-714D	事業所コード AXU6	2023.3.31発行
---------------	-------------	-------------



*
MAM 714D
*